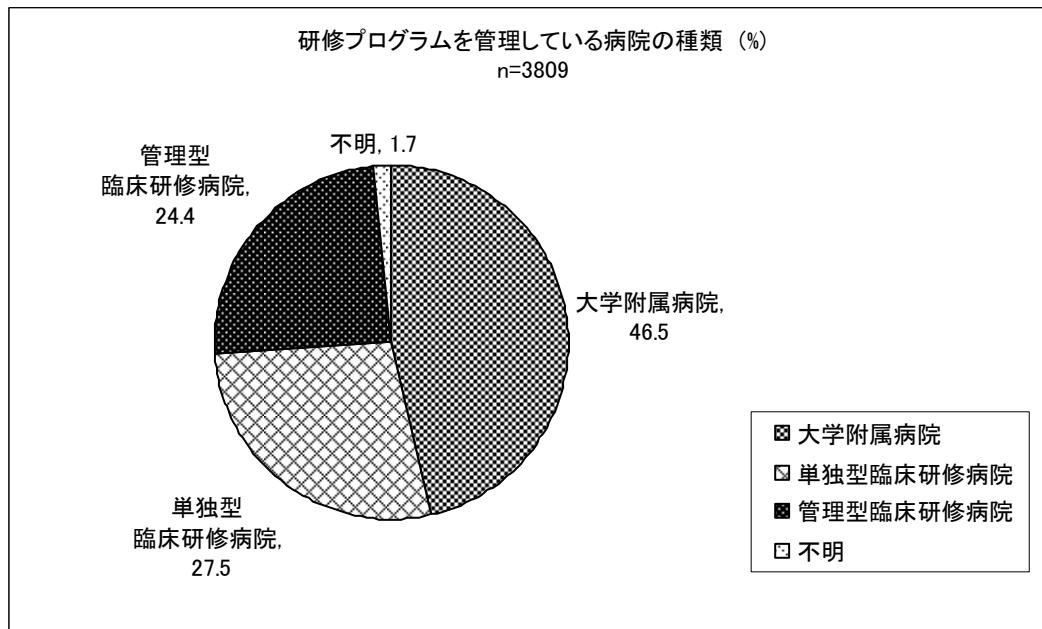


1. 研修2年次生に関する調査

(1) 研修医のプログラムを管理している病院について

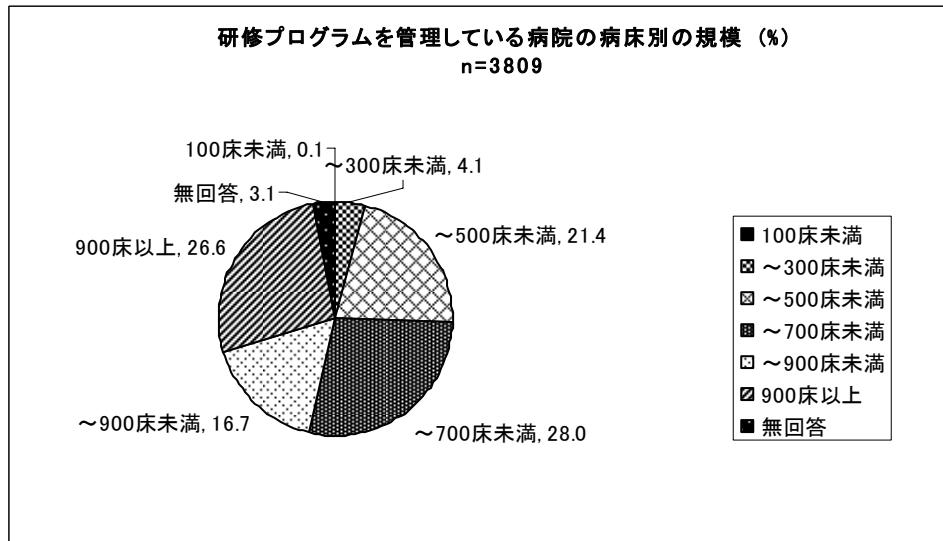
1) 研修医のプログラムを管理している病院の種類

研修医のプログラムを管理している病院は、大学病院 46.5%、臨床研修病院 51.9%であった。



2) 研修プログラムを管理している病院の規模

研修プログラムを管理している病院の規模は、300床未満 (4.2%)、300床以上500床未満 (21.4%)、500床以上700床未満 (28.0%)、700床以上900床未満 (16.7%)、900床以上 (26.6%) であった。

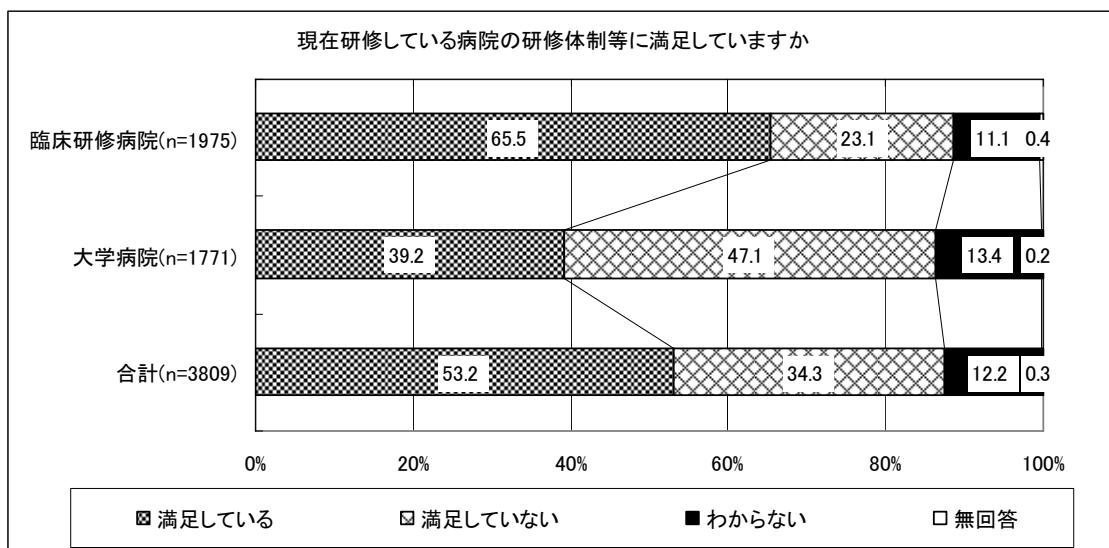


(2) 臨床研修病院・大学病院別分析(研修体制・プログラムについての満足度)

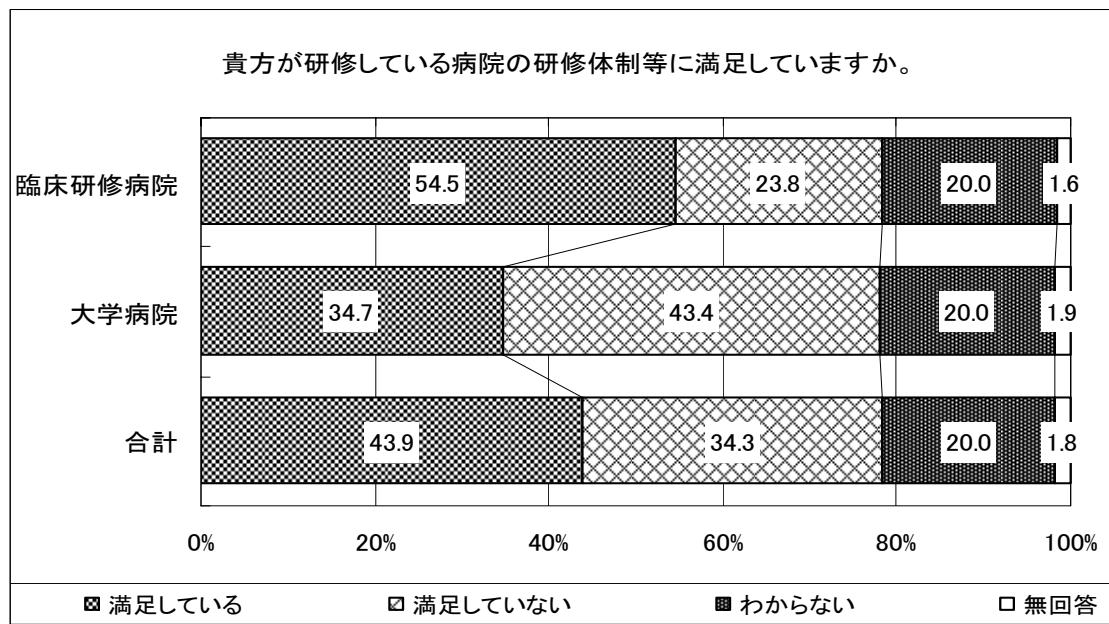
1) 研修体制についての満足度

研修体制についての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高い。

昨年度（1年次研修医）の満足度と比較すると、臨床研修病院では満足している者が11.0ポイント増加、満足していない者が0.7ポイント減少しているが、大学病院では満足している者、満足していない者ともに4ポイント程度増加している。



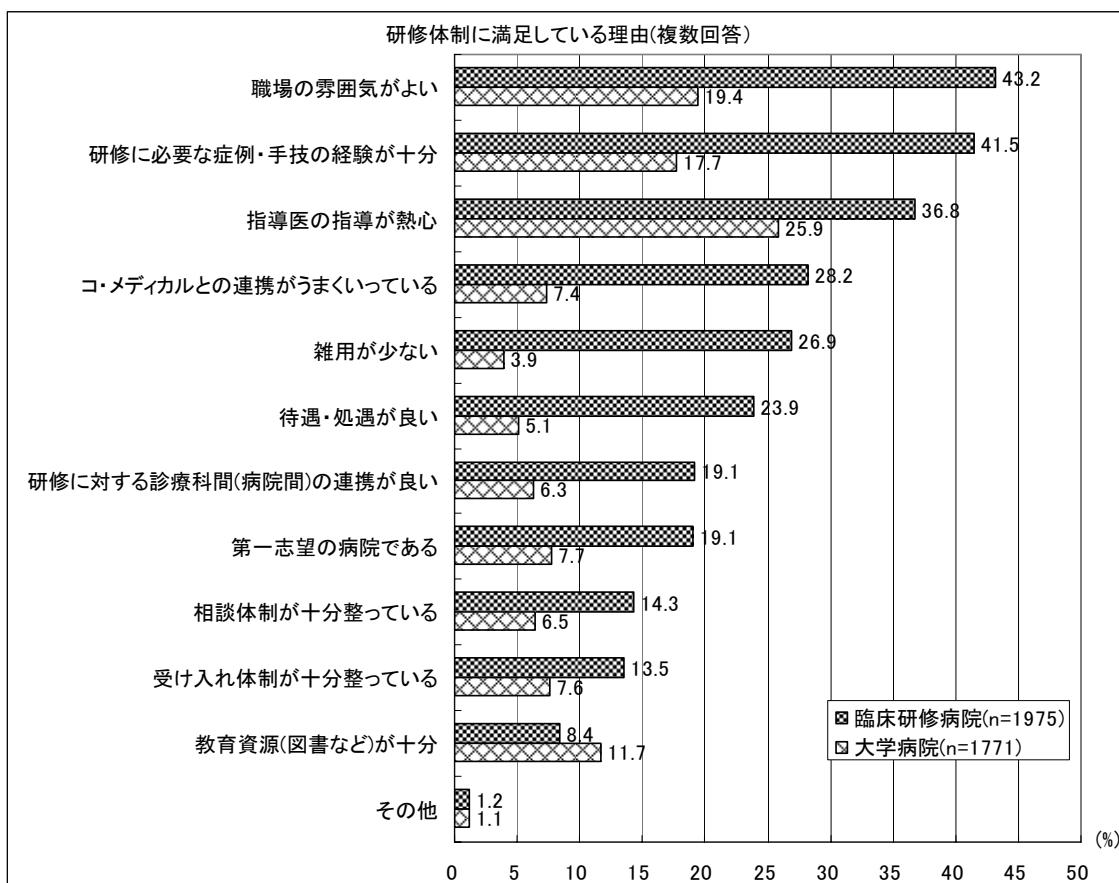
<参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



2) 研修体制に満足している理由

研修体制に満足している理由としては、臨床研修病院においては「職場の雰囲気がよい」(43.2%)、「研修に必要な症例・手技の経験が十分」(41.5%)、大学病院においては「指導医の指導が熱心」(25.9%)等が多い。

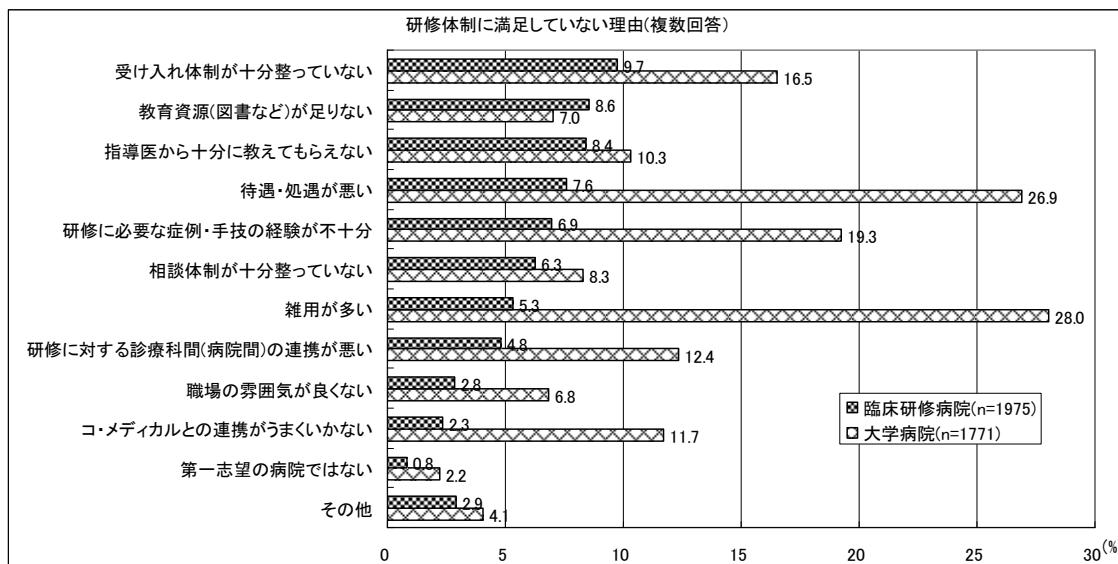
(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がぞれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



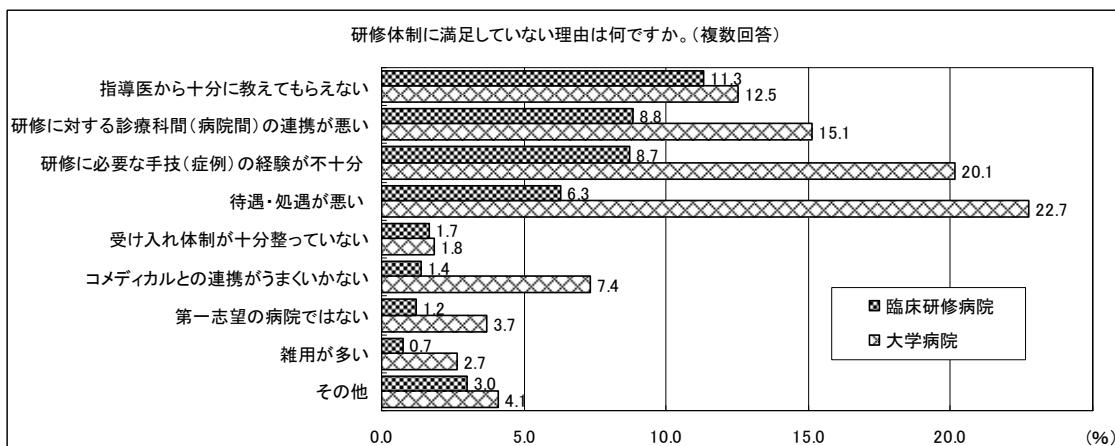
3) 研修体制に満足していない理由

研修体制に満足していない理由は、臨床研修病院においては「受け入れ体制が十分整っていない」(9.7%)、大学病院においては「雑用が多い」(28.0%)、「待遇・処遇が悪い」(26.9%)等が多い。また、昨年(1年次研修医)の満足していない理由と比べ、特に「受け入れ体制が十分整っていない」「雑用が多い」が大きく増加している。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



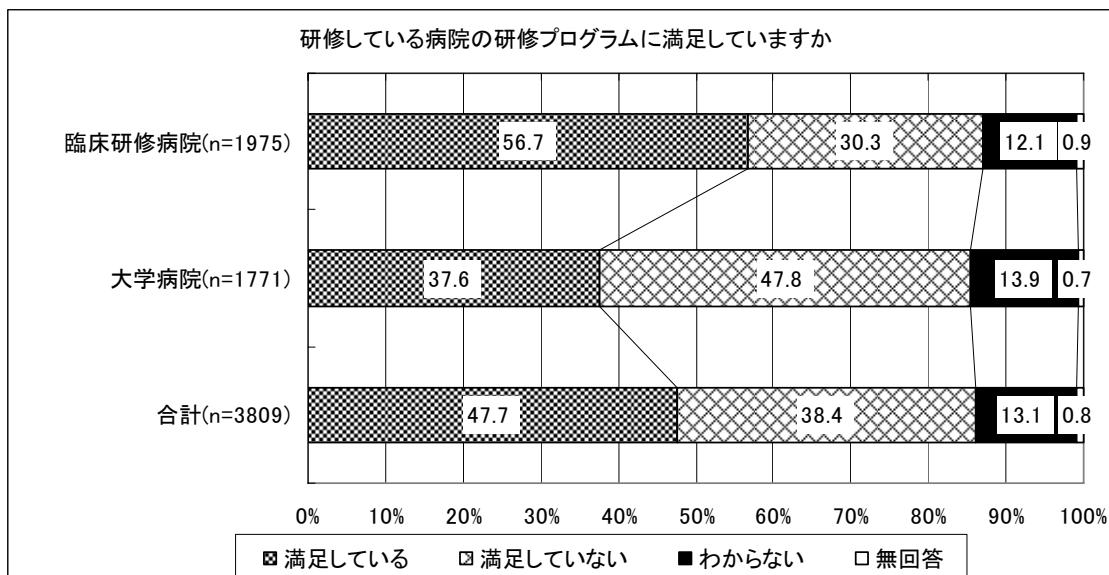
<参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



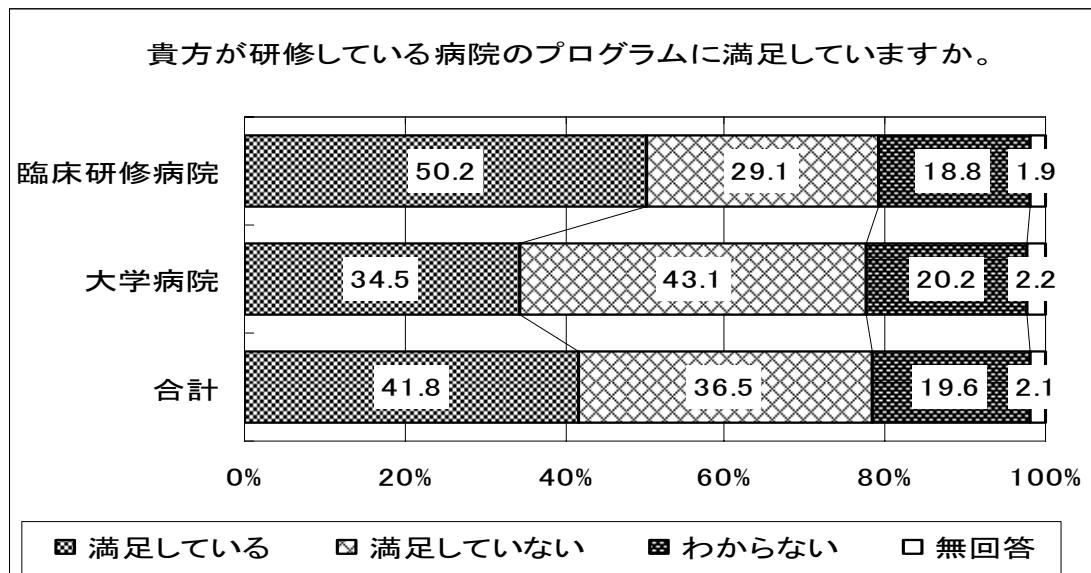
4) 研修プログラムへの満足度

研修プログラムについての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高い。

昨年度（1年次研修医）の満足度と比較すると、臨床研修病院では満足している者が6.5ポイント、満足していない者が1.2ポイント、大学病院では満足している者が3.1ポイント、満足していない者は4.7ポイント増加している。



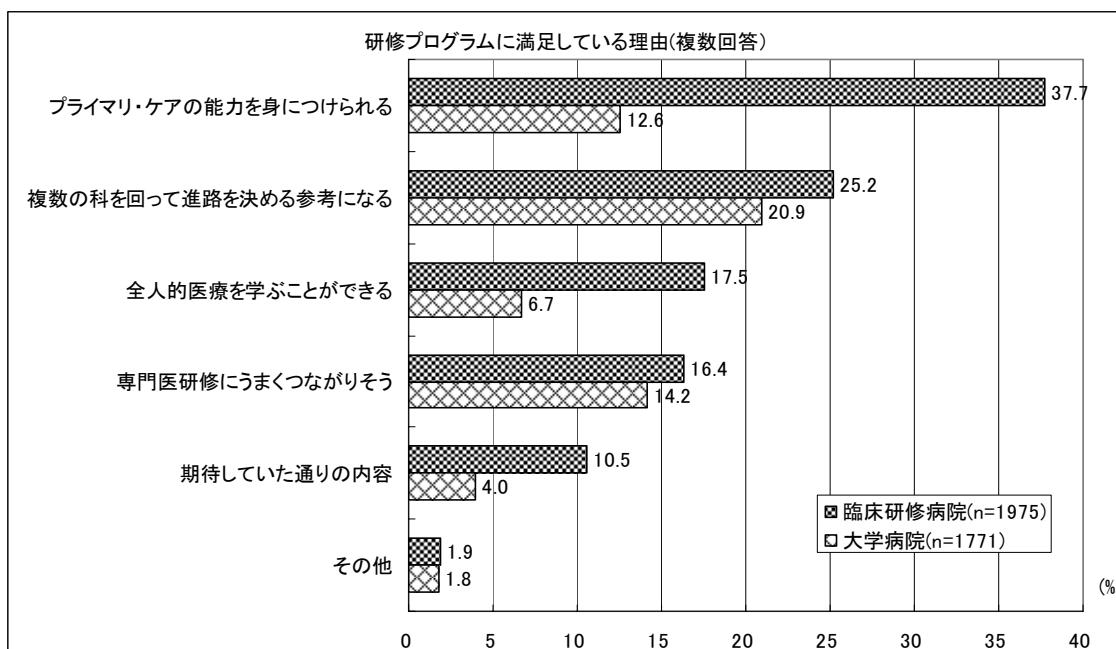
<参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



5)満足している理由

研修プログラムに満足している理由は、臨床研修病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」(37.7%)、「複数の科を回って進路を決める参考になる」(25.2%)、大学病院においては「複数の科を回って進路を決める参考になる」(20.9%)等が多い。

(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)

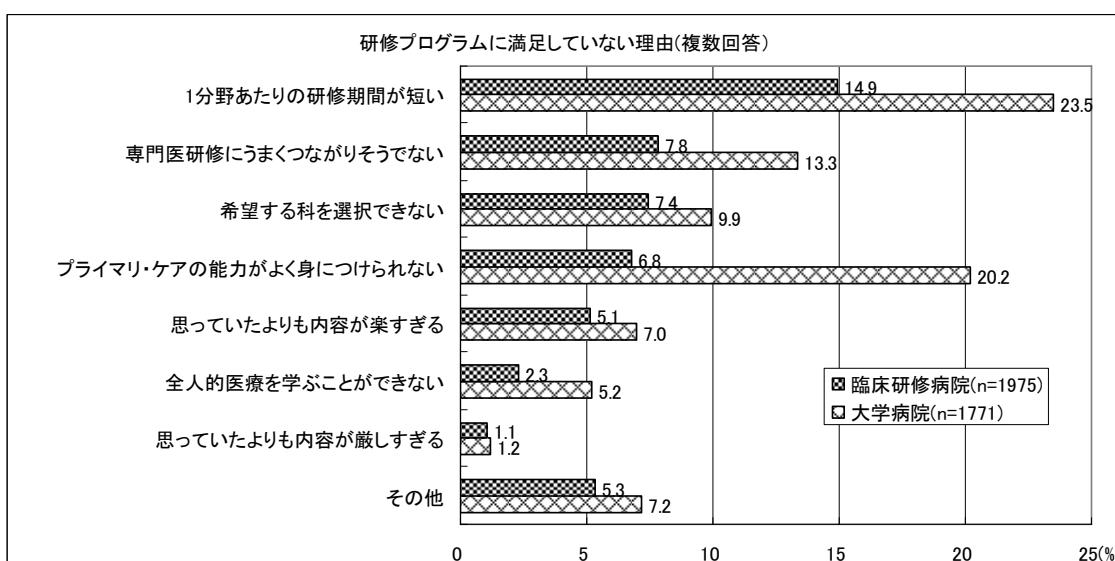


6)満足していない理由

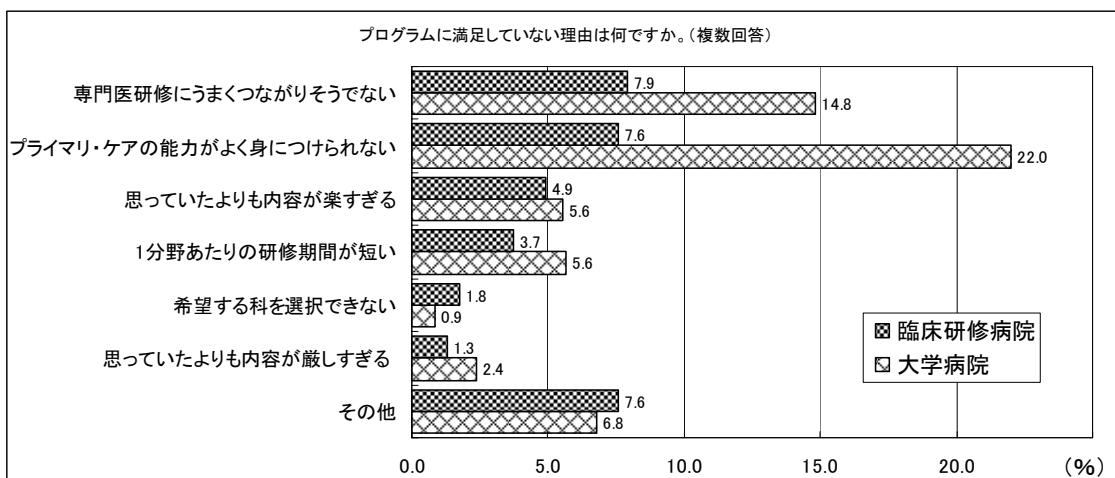
研修プログラムに満足していない理由は、臨床研修病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」(14.9%)、大学病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」(23.5%)、「プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない」(20.2%)等が多い。

また、昨年(1年次研修医)と比べると、特に「1分野あたりの研修期間が短い」が増加している。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



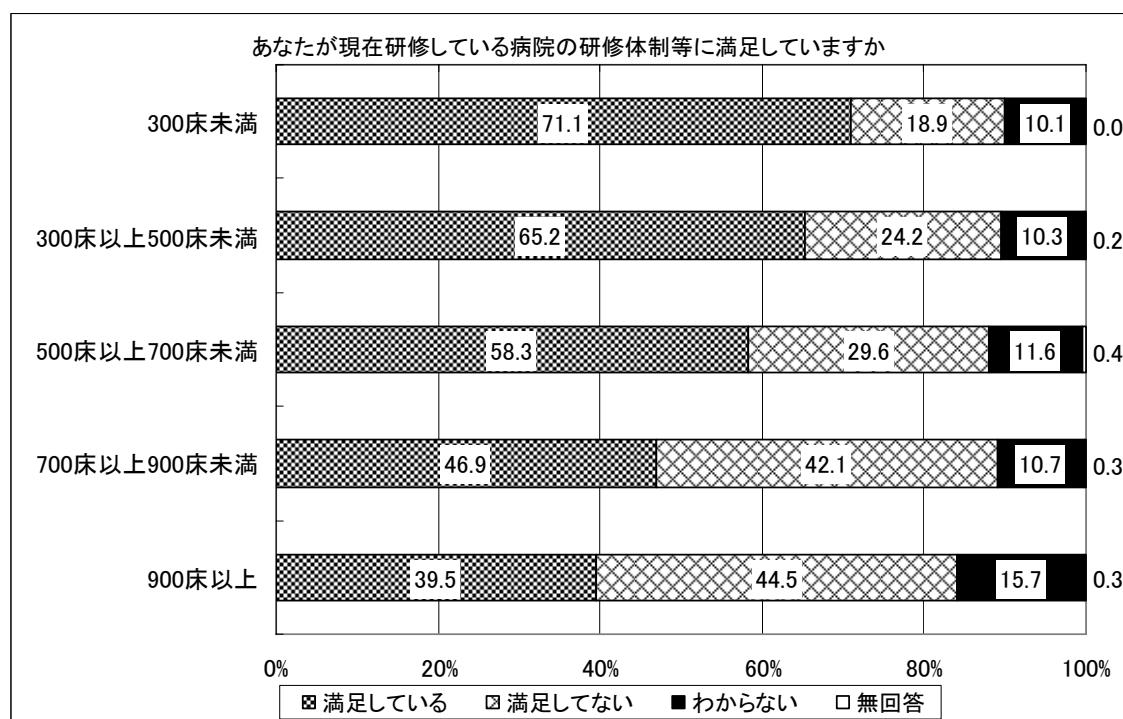
<参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



(3) 病床規模別分析(研修体制・プログラムについての満足度)

1) 研修体制についての満足度

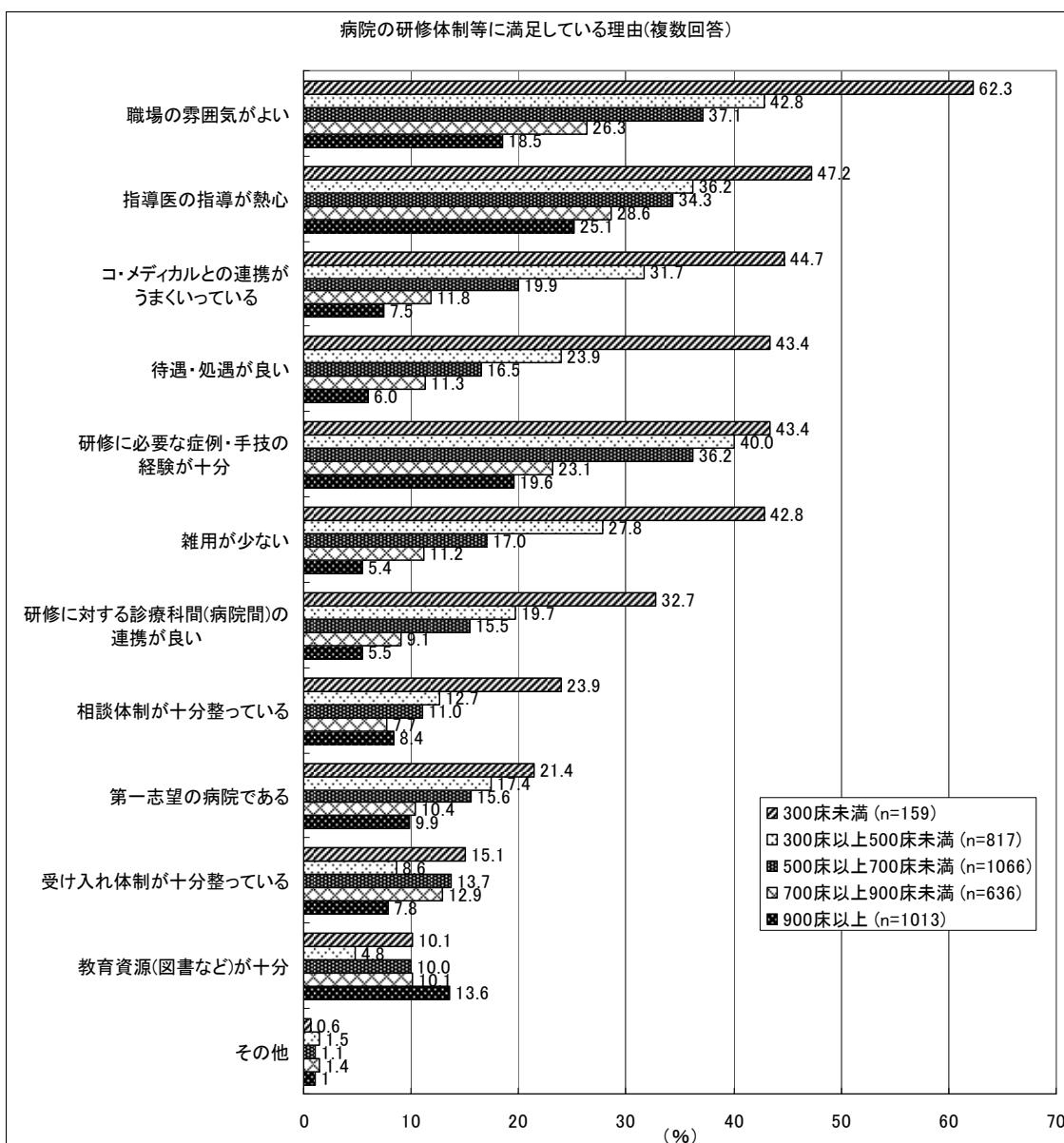
病院の研修体制について満足している者の割合は、300床未満の病院において71.1%、300床以上500床未満の病院において65.2%、500床以上700床未満の病院において58.3%、700床以上900床未満の病院において46.9%、900床未満の病院において39.5%であり、満足していない者の割合は、300床未満の病院において18.9%、300床以上500床未満の病院において24.2%、500床以上700床未満の病院において29.6%、700床以上900床未満の病院において42.1%、900床以上の病院において44.5%であった。



2) 研修体制について満足している理由

満足している理由としては、「職場の雰囲気がよい」「指導医の指導が熱心」「コ・メディカルとの連携がうまくいっている」等が多く、病床数の多い病院においては、「教育資源（図書など）が十分」が病床規模の小さい病院よりも多かった。

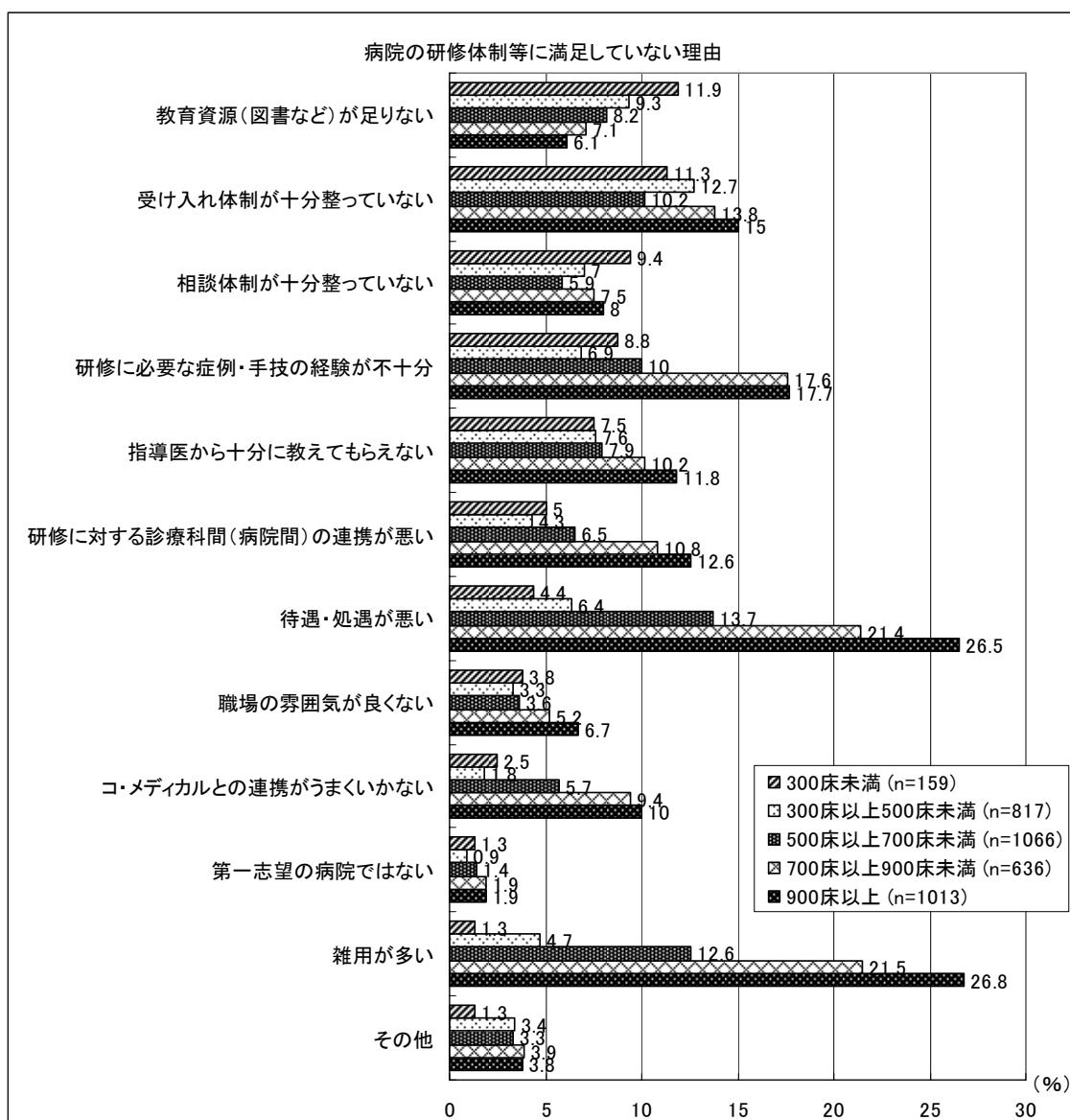
（なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。）



3) 研修体制について満足していない理由

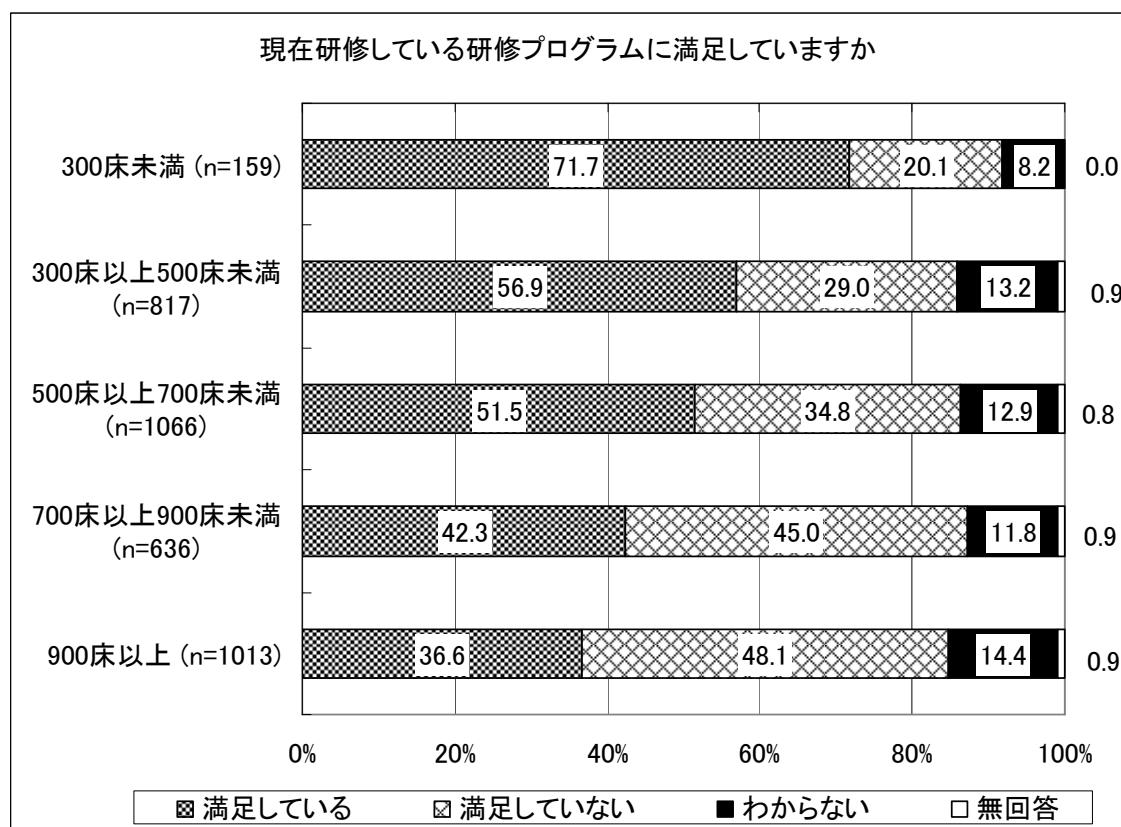
満足していない理由としては、500床未満の病院においては「教育資源(図書など)が足りない」が多く、500床以上の病院においては「雑用が多い」、「待遇・処遇が悪い」等が多かった。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



4) 研修プログラムについての満足度

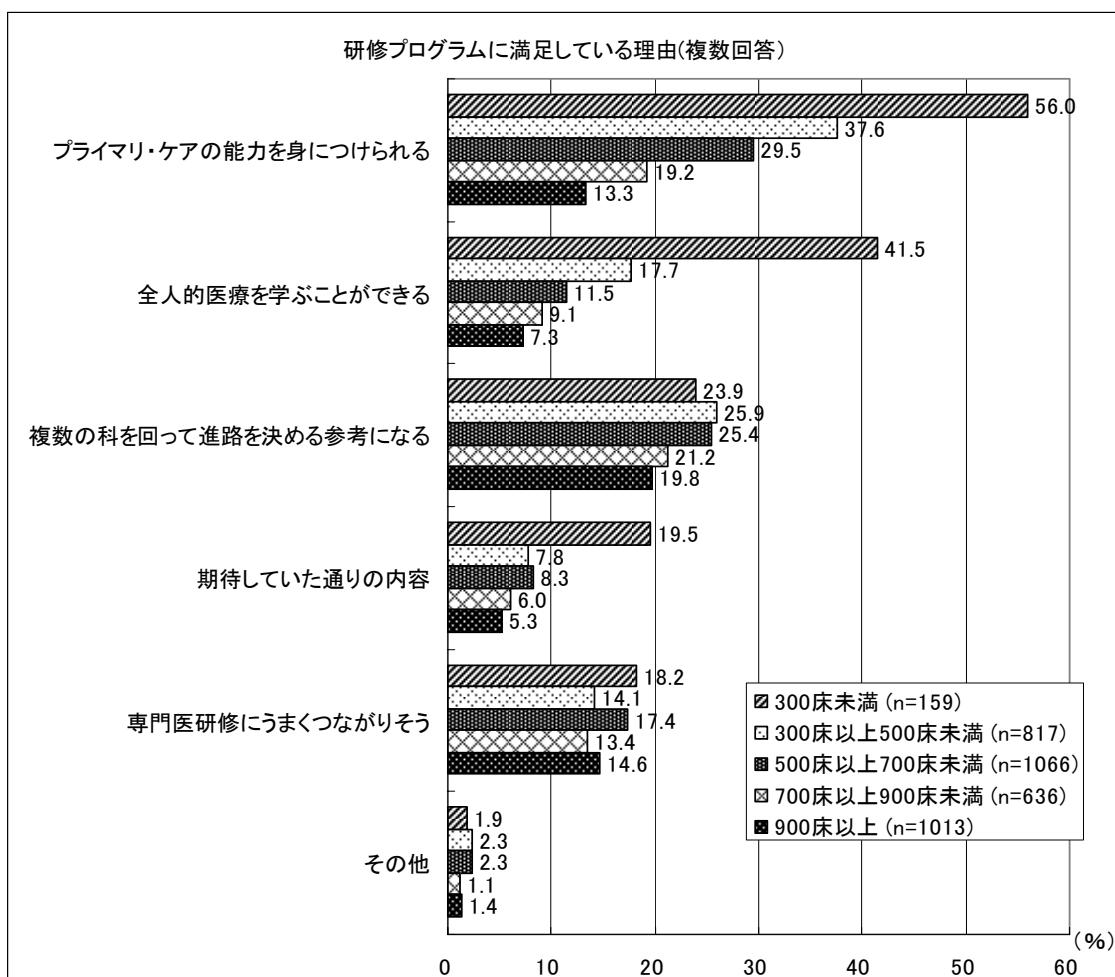
病院の研修プログラムについて満足している者の割合は、300床未満の病院において71.7%、300床以上500床未満の病院において56.9%、500床以上700床未満の病院において51.5%、700床以上900床未満の病院において42.3%、900床未満の病院において36.6%であり、満足していない者の割合は300床未満の病院において20.1%、300床以上500床未満の病院において29.0%、500床以上700床未満の病院において34.8%、700床以上900床未満の病院において45.0%、900床未満の病院においては48.1%であった。



②研修プログラムに満足している理由

満足している理由としては、「300床未満の病床の病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」、「全人的医療を学ぶことができる」等が多い。また全ての病院においては、「複数の科を回って進路を決める参考になる」が多い。

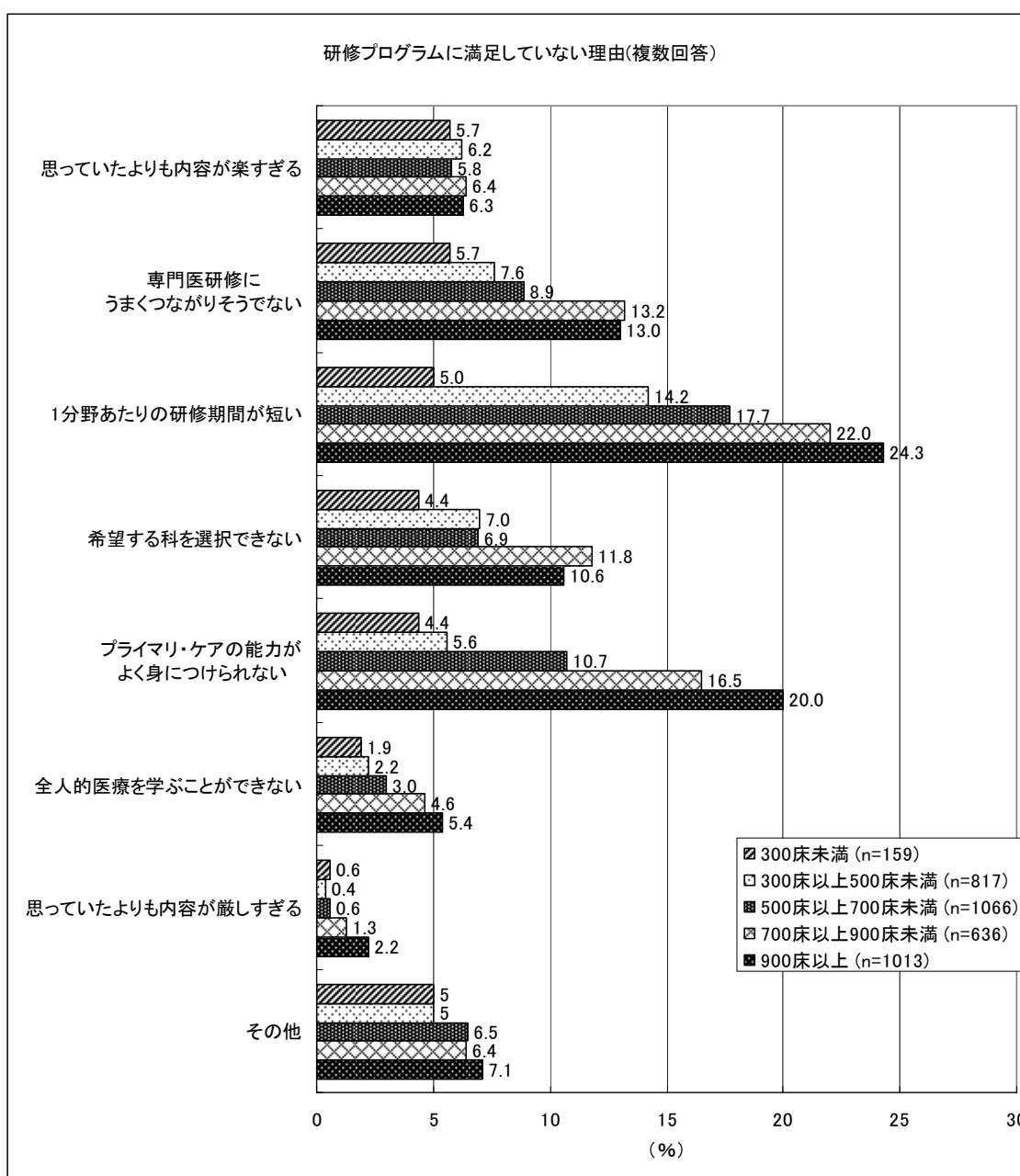
(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



③研修プログラムに満足していない理由

満足していない理由としては、300床以上の病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」が、700床以上の病院においては、「プライマリ・ケアの能力を身につけられない」等が多かった。

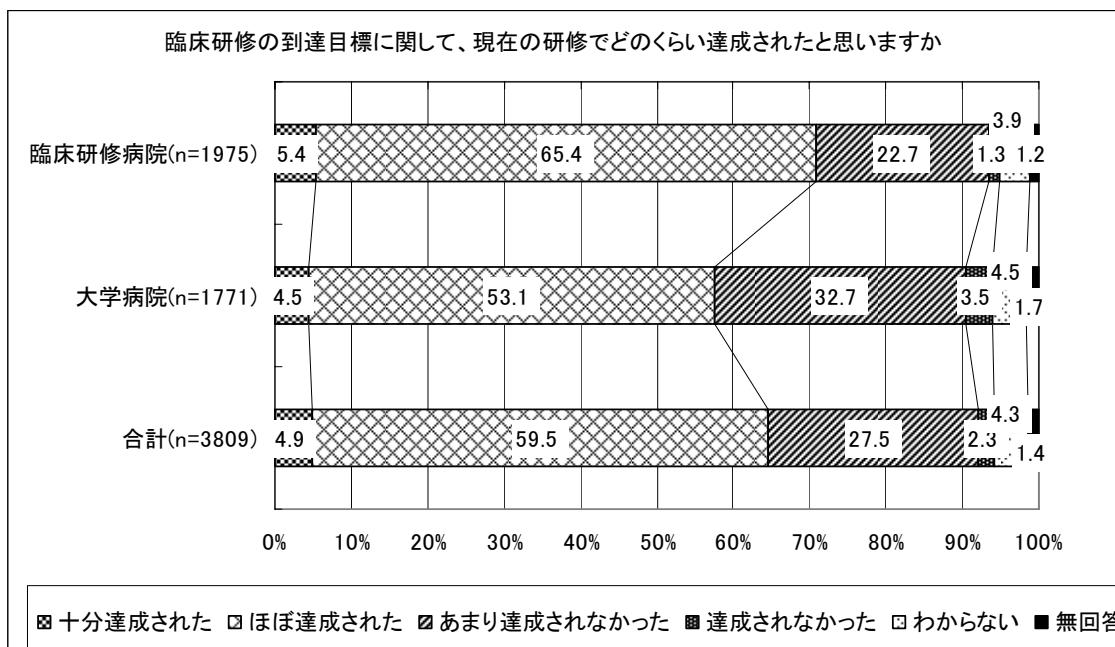
(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



(4) 臨床研修の目標達成度

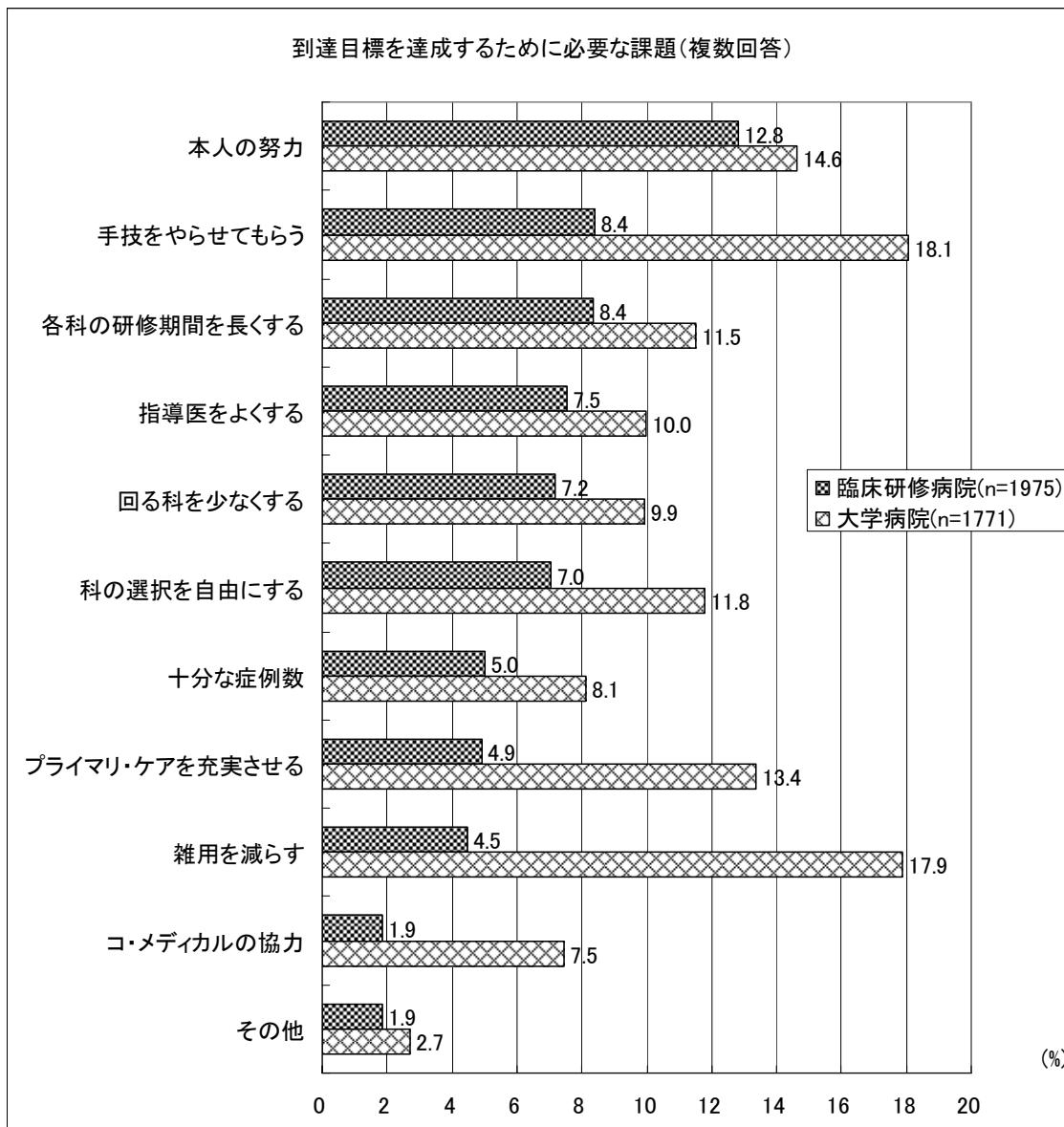
1) 達成度

目標が十分、もしくはほぼ達成されたとした研修医の割合は、全体では64.4%、臨床研修病院では70.8%、大学病院では57.6%であり、臨床研修病院の方が大学病院より高い。



2) 達成するために必要な課題

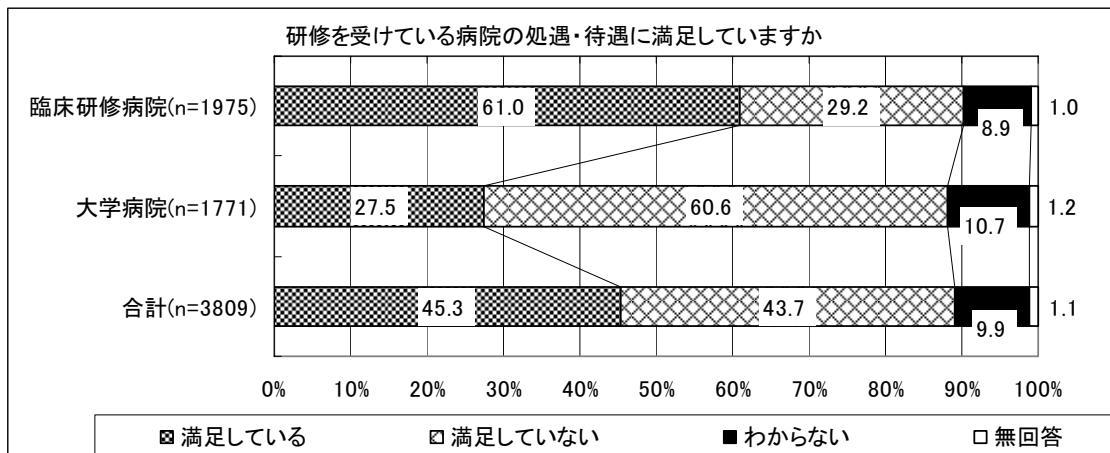
目標を達成するために必要な課題として、臨床研修病院においては「本人の努力」(14.6%)、大学病院においては「手技をやらせてもらう」(18.1%)、「雑用を減らす」(17.9%) 等が多い。



(5) 処遇・待遇について

1) 処遇・待遇についての満足度

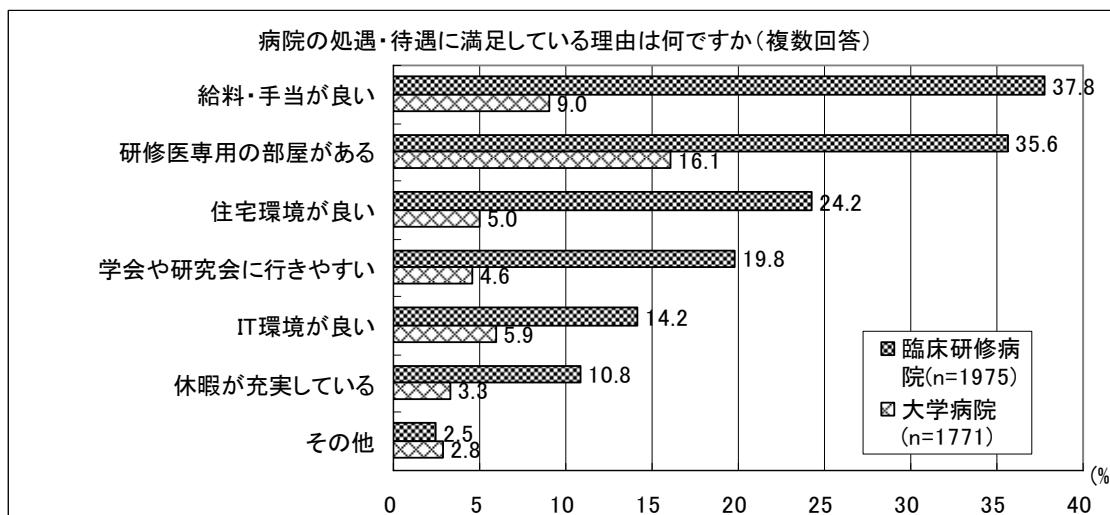
研修を受けている病院の処遇・待遇に満足しているとした者の割合は、臨床研修病院において 61.0%、大学病院において 27.5%であり、満足していないとした者は臨床研修病院において 29.2%、大学病院において 60.6%であった。



2) 処遇・待遇についての満足した理由(臨床研修病院/大学病院別)

満足している理由としては、臨床研修病院においては「給料・手当が良い(37.8%)」、「研修医専用の部屋がある(35.6%)」、大学病院においては「研修医専用の部屋がある(16.1%)」等が多い。

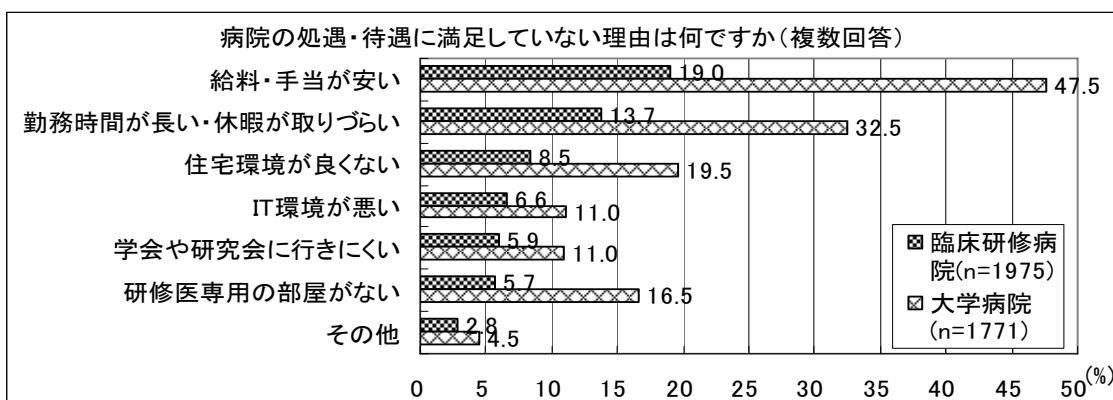
(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



3) 処遇・待遇についての不満足の理由

満足していない理由としては、臨床研修病院においては「給料・手当が安い」(19.0%)、大学病院においては「給料・手当が安い」(47.5%)、「勤務時間が長い・休暇が取りづらい」(32.5%)等が多い。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



参考資料

厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室調べ

研修医(1年次生)の平均給与(年収)の比較

区分	平成15年度 (旧制度)A	平成16年度 (新制度)B	16' - 15' (B-A)	平成17年度C	17' - 16' (C-B)	17' - 15' (C-A)
臨床研修病院	円 4,245,413	円 4,223,636	円 △ 21,777	円 4,562,902	円 339,266	円 317,489
国立①	2,897,122	3,836,323	939,201	4,039,758	203,435	1,142,636
公立	4,286,721	4,186,919	△ 99,802	4,626,322	439,403	339,601
公的	4,547,842	4,284,070	△ 263,772	4,641,408	357,338	93,566
その他	4,635,405	4,378,283	△ 257,122	4,638,145	259,862	2,740
大学附属病院	2,040,051	3,179,289	1,139,238	3,427,337	248,048	1,387,286
国立②	2,383,418	3,433,817	1,050,399	3,710,358	276,541	1,326,940
公立	2,309,335	3,763,542	1,454,207	4,016,824	253,282	1,707,489
私立	1,461,016	2,749,984	1,288,968	2,974,225	224,241	1,513,209
全体	2,645,810	3,653,496	1,007,686	4,004,494	350,998	1,358,684

国立①: 厚生労働省(国立病院機構)、防衛庁、日本郵政公社、労働福祉事業団(労働者健康福祉機構)

国立②: 文部科学省(国立大学法人)

公立: 都道府県、市町村

公的: 日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、厚生農業協同組合連合会

その他: 上記以外の公益法人、医療法人等

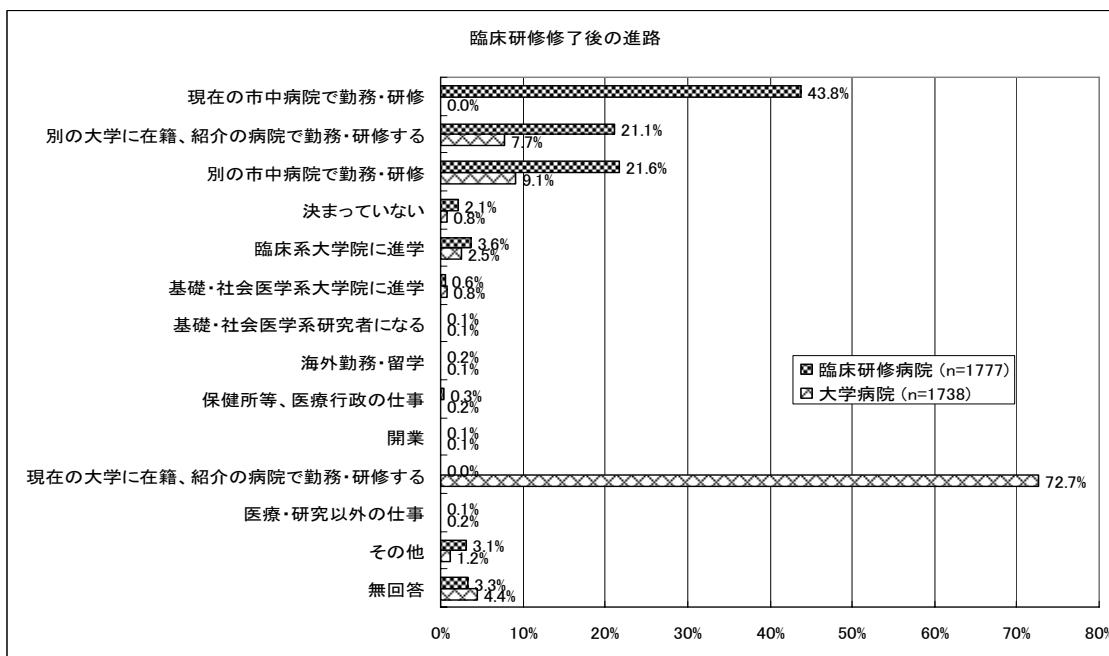
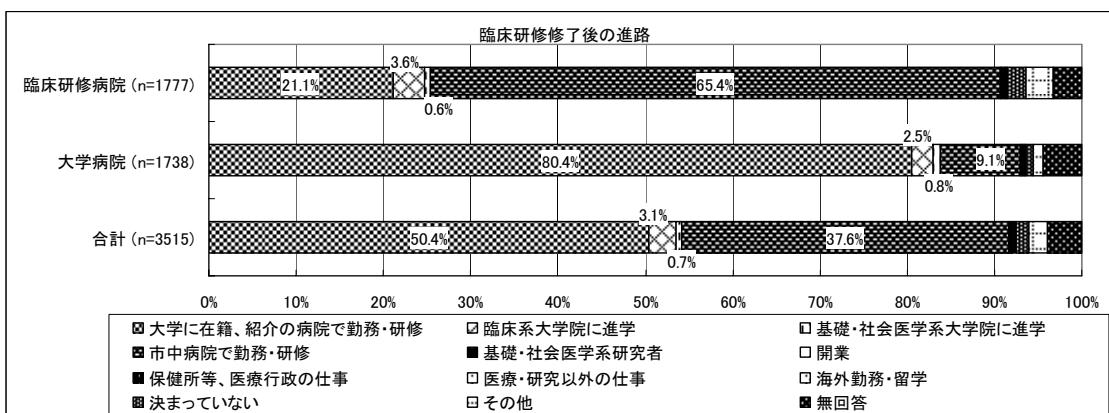
(6) 臨床研修修了後の進路

臨床研修修了後の進路は、大学病院で勤務・研修を行う者は 50.4%（大学院を入れると 54.2%）、市中病院で勤務・研修を行う者は 37.6% であった。

大学病院で臨床研修を行った者において、臨床研修後に大学で勤務・研修を行う者の割合は 80.4%（大学院を入れると 83.7%）であった一方、臨床研修病院で研修を行った者における割合は 21.1%（大学院を入れると 25.3%）であった。

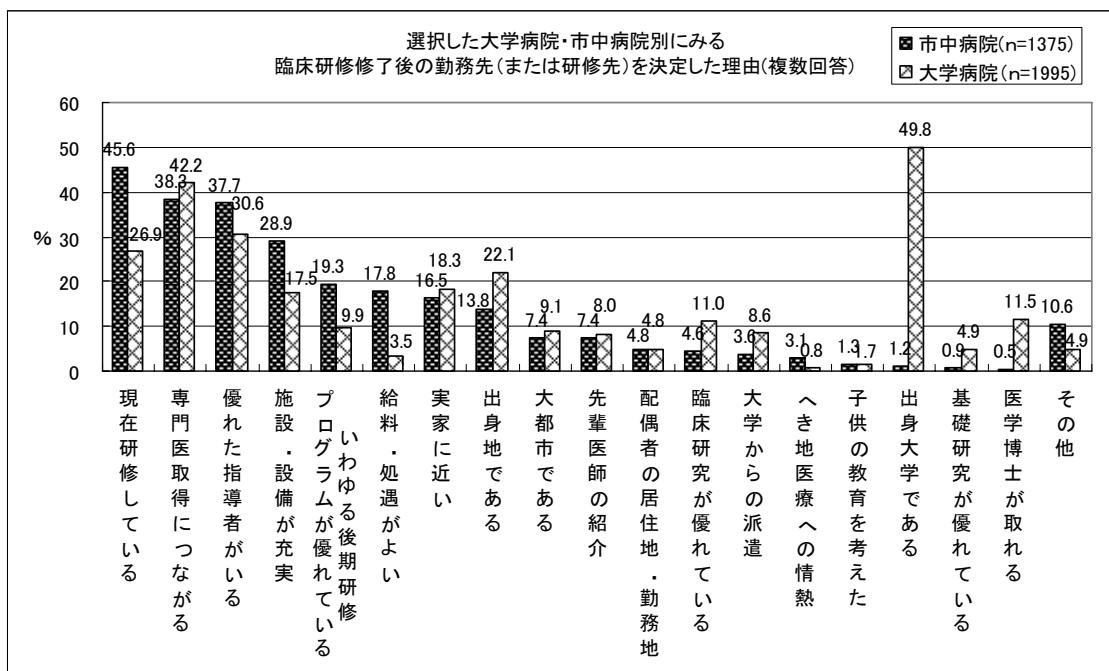
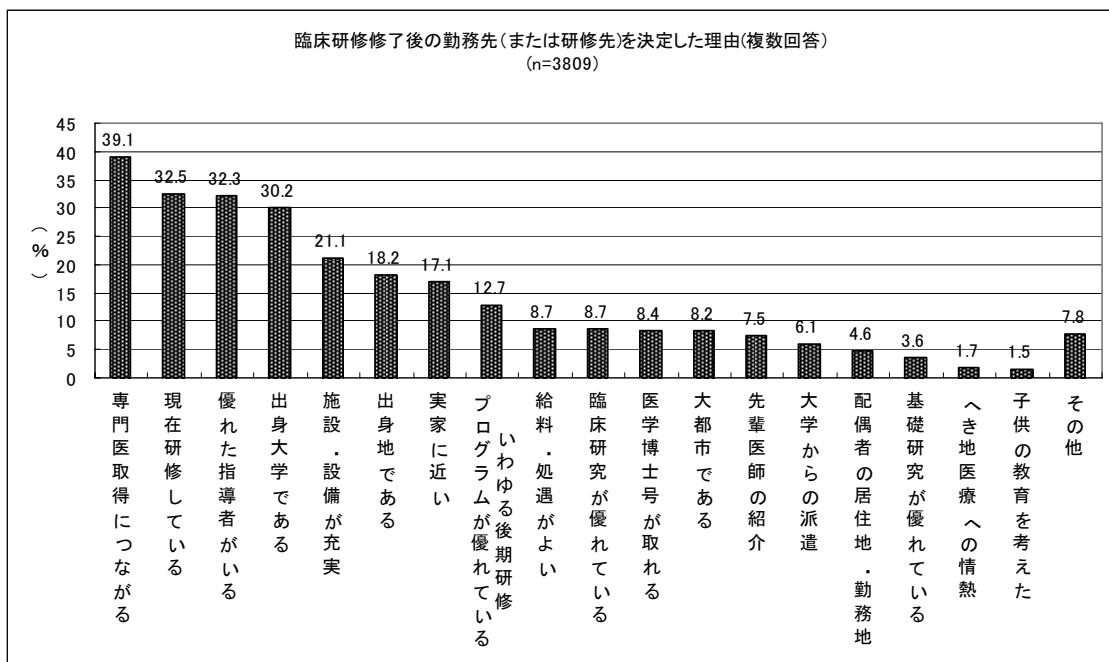
大学病院で臨床研修を行った者において、研修修了後に市中病院で勤務・研修を行う者の割合が 9.1% であった一方、臨床研修病院で研修を行った者における割合は 65.4% であった。

研修後も臨床研修を行った病院にて研修・勤務を引き続き行う傾向があり、特に大学病院ではその傾向が強い。



(7) 臨床研修修了後の研修・勤務先を決定した理由

臨床研修修了後の勤務・研修先を決定した理由では、全体では、「専門医取得につながる」(39.1%)、「現在研修している」(32.5%)、「優れた指導者がいる」(32.3%)、「出身大学である」(30.2%)等が上位を占めた。

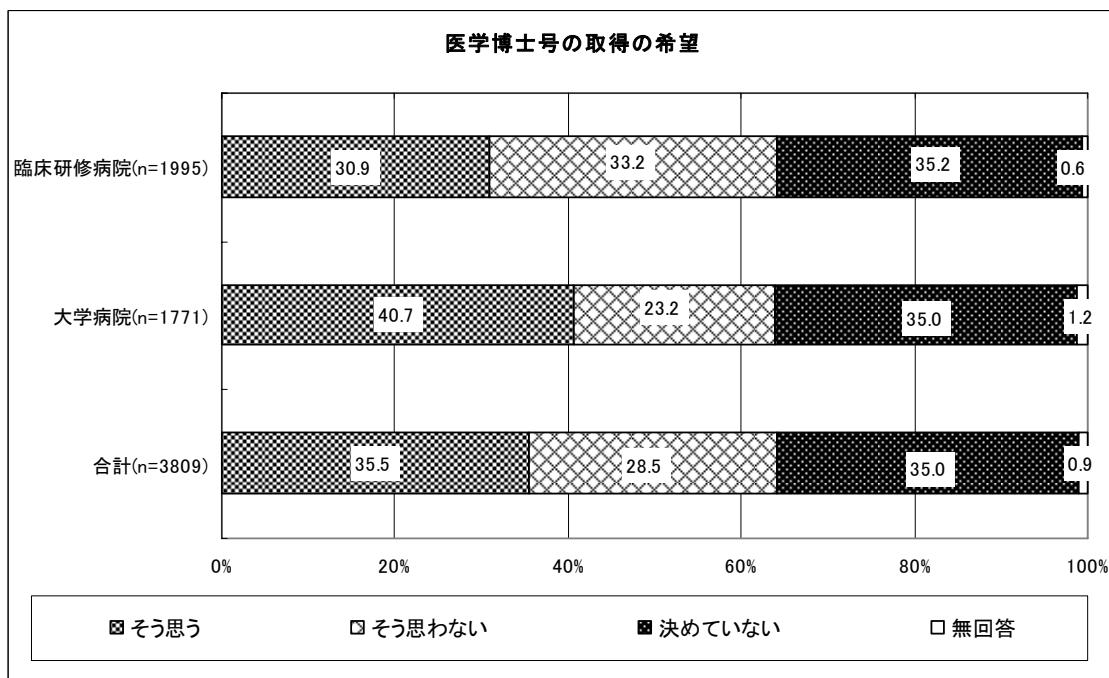
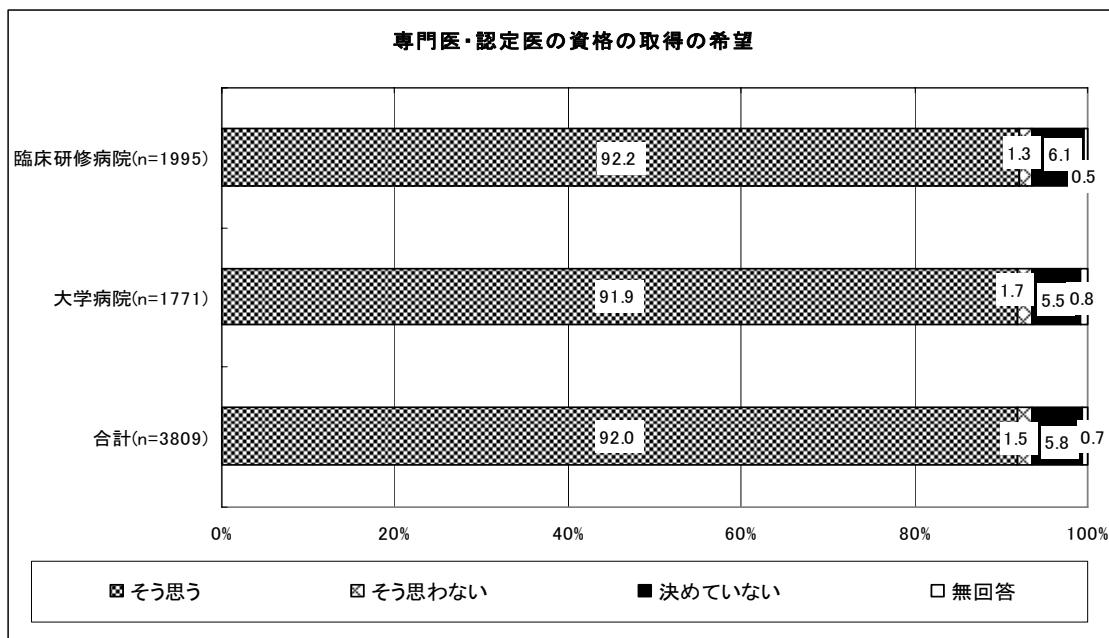


(8) 専門医・認定医・博士号の取得希望について

1) 専門医・認定医/医学博士の資格取得希望(臨床研修病院/大学病院別)

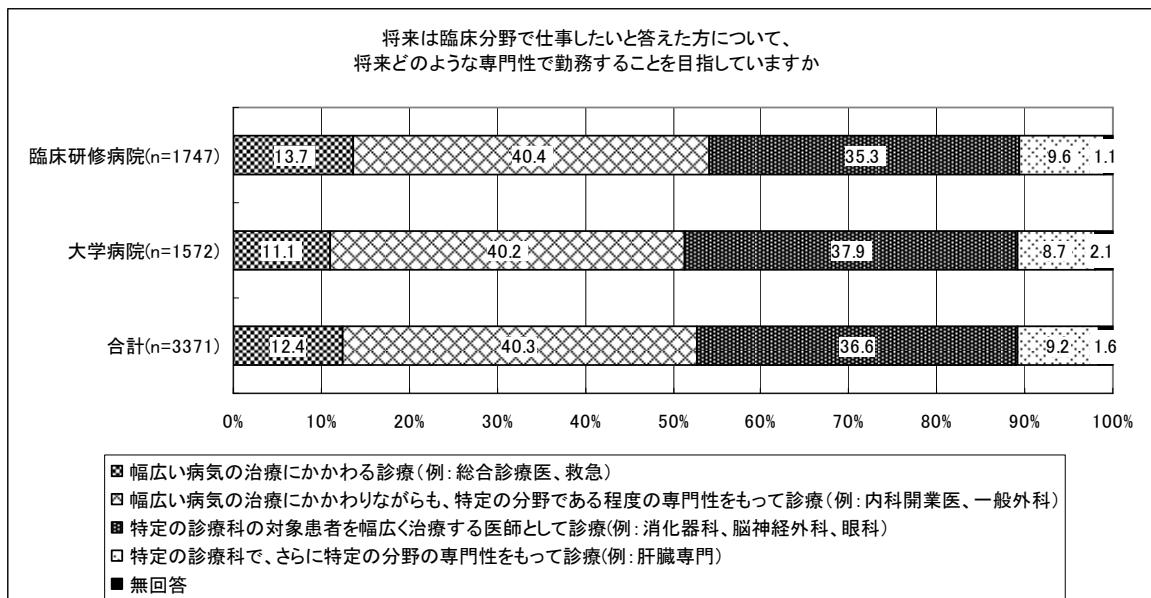
研修医が専門医、認定医の取得を希望している割合は、臨床研修病院では92.2%、大学病院では91.9%であった。

また、研修医が博士号の取得を希望している割合は、臨床研修病院では30.9%、大学病院では40.7%であった。



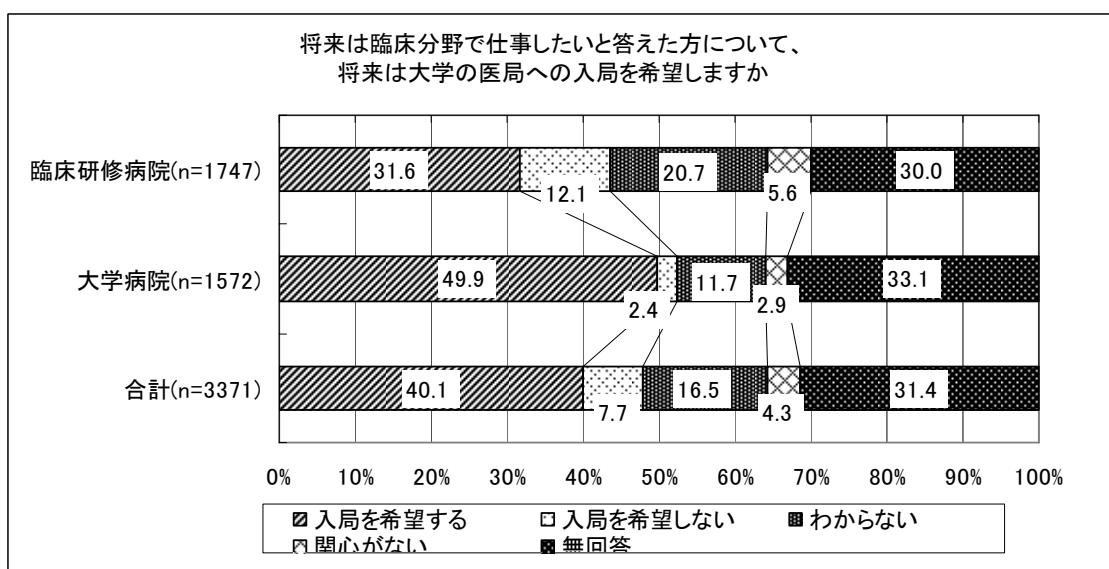
2) 専門性の範囲(臨床研修病院/大学病院別)

将来は臨床分野で仕事したいと回答した研修医において、「幅広い病気の治療にかかわりながらも特定の分野で専門性をもって診療したい」が 40.3%、「特定の診療科対象患者を幅広く治療する医師として診療したい」が 36.6%であった。



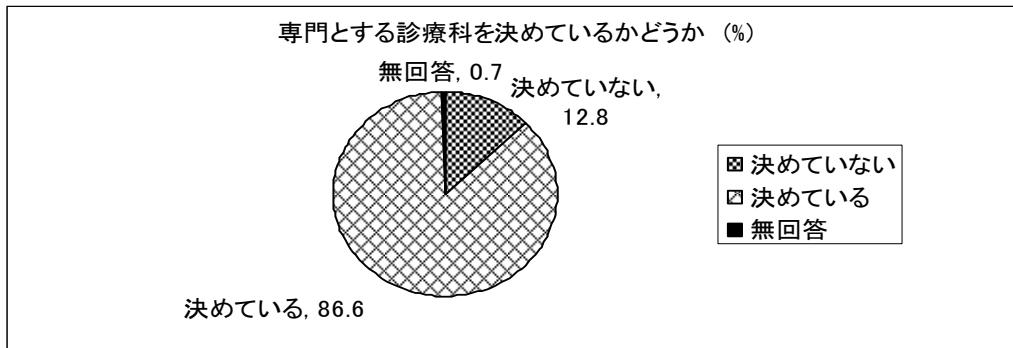
(9) 大学の医局へ入る希望(臨床研修病院/大学病院別)

将来は臨床分野で仕事したいと回答した研修医において、大学の医局へ入局希望があると回答した割合は、臨床研修病院にて 31.6%、大学病院において 49.9%であった。



(10) 臨床研修修了後に進む診療科を決めているかどうか

臨床研修修了後に専門とする診療科を決めている者は 3298 人 (86.6%) であった。



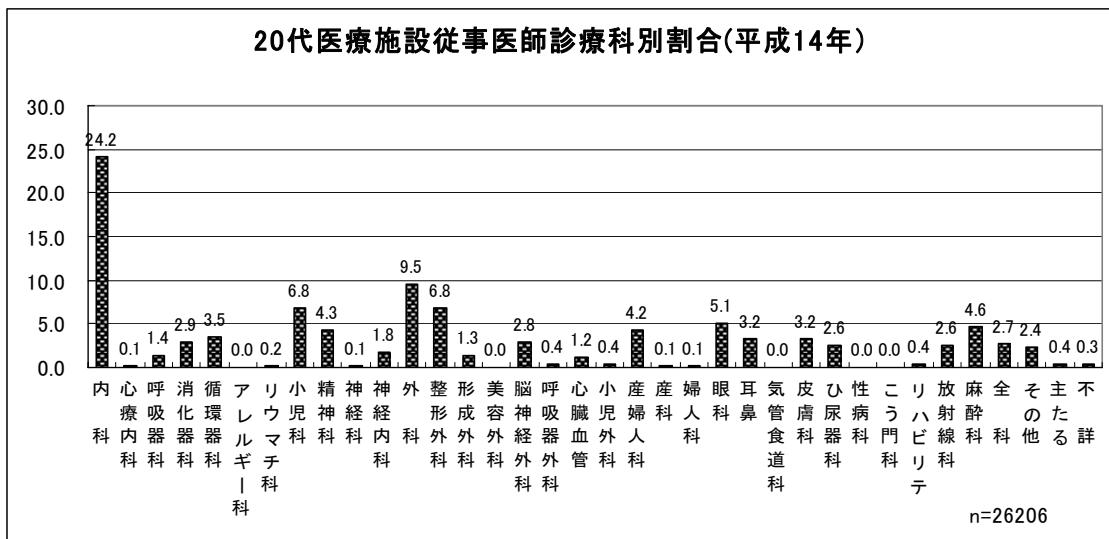
(11) 希望する診療科

専門とする診療科が決まっていると答えた 3298 人のうち、最も多い科は内科で 14.6% であった。また、小児科は 7.5%、産婦人科は 4.9%、麻酔科は 5.8% であった。小児科、産婦人科、麻酔科に関しては、20 代医療施設従事医師診療科別割合（平成 14 年）よりも高くなっている。

診療科	人数	割合			
内科	480	14.6%	脳神経外科	57	1.7%
外科	293	8.9%	心臓血管外科	46	1.4%
小児科	247	7.5%	総合診療科	25	0.8%
消化器科	217	6.6%	小児外科	16	0.5%
整形外科	213	6.5%	呼吸器外科	15	0.5%
循環器科	207	6.3%	リハビリテーション科	15	0.5%
麻酔科	191	5.8%	病理	15	0.5%
産婦人科	163	4.9%	基礎系	11	0.3%
精神科	142	4.3%	リウマチ科	8	0.2%
眼科	131	4.0%	心療内科	6	0.2%
皮膚科	131	4.0%	美容外科	6	0.2%
放射線科	100	3.0%	緩和ケア	5	0.2%
呼吸器科	92	2.8%	医療行政職	5	0.2%
泌尿器科	86	2.6%	アレルギー科	3	0.1%
耳鼻咽喉科	84	2.5%	その他	67	2.0%
形成外科	71	2.2%	無回答	18	0.5%
救命救急	70	2.1%	総計	3298	100.0%
神経内科	62	1.9%			

内科系			外科系(産婦人科含まない)		
内科	480	14.6%	外科	293	8.9%
消化器科	217	6.6%	整形外科	213	6.5%
循環器科	207	6.3%	眼科	131	4.0%
呼吸器科	92	2.8%	皮膚科	131	4.0%
神経内科	62	1.9%	泌尿器科	86	2.6%
総合診療科	25	0.8%	耳鼻咽喉科	84	2.5%
リウマチ科	8	0.2%	形成外科	71	2.2%
心療内科	6	0.2%	脳神経外科	57	1.7%
合計	1097	33.3%	心臓血管外科	46	1.4%
			小児外科	16	0.5%
			呼吸器外科	15	0.5%
			美容外科	6	0.2%
			合計	1149	34.8%

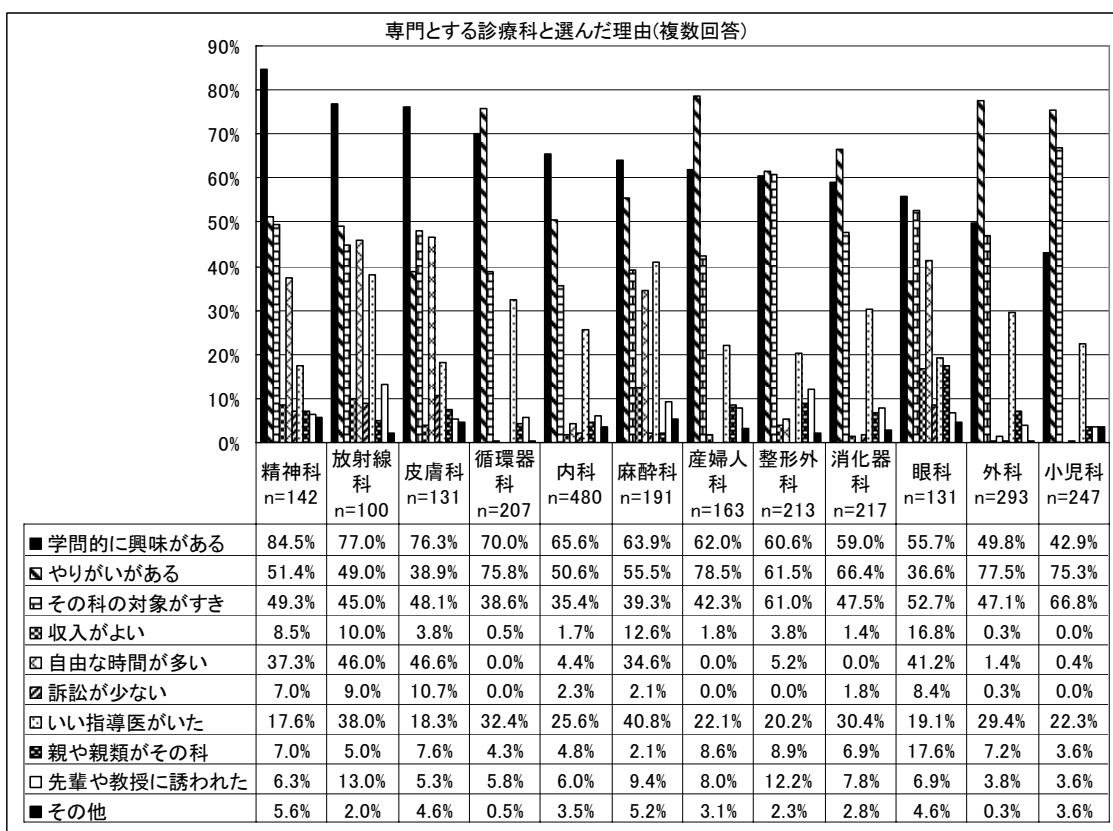
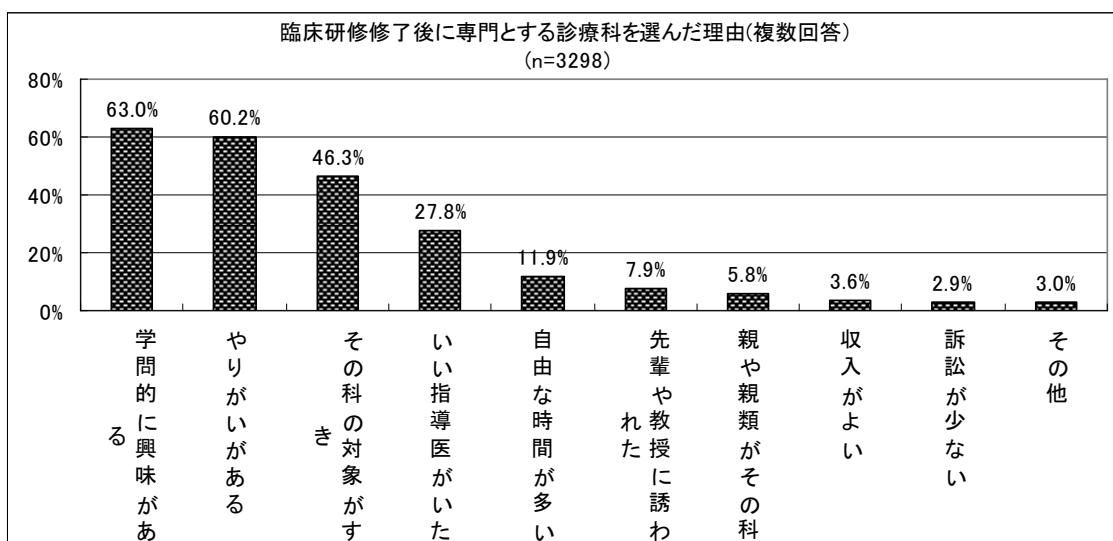
＜参考＞20代医療施設従事医師診療科別割合



厚生労働省大臣官房統計情報部 平成 14 年医師・歯科医師・薬剤師調査
※平成 16 年度より開始した医師臨床研修制度の影響を除くため、平成 14 年調査結果を提示した。

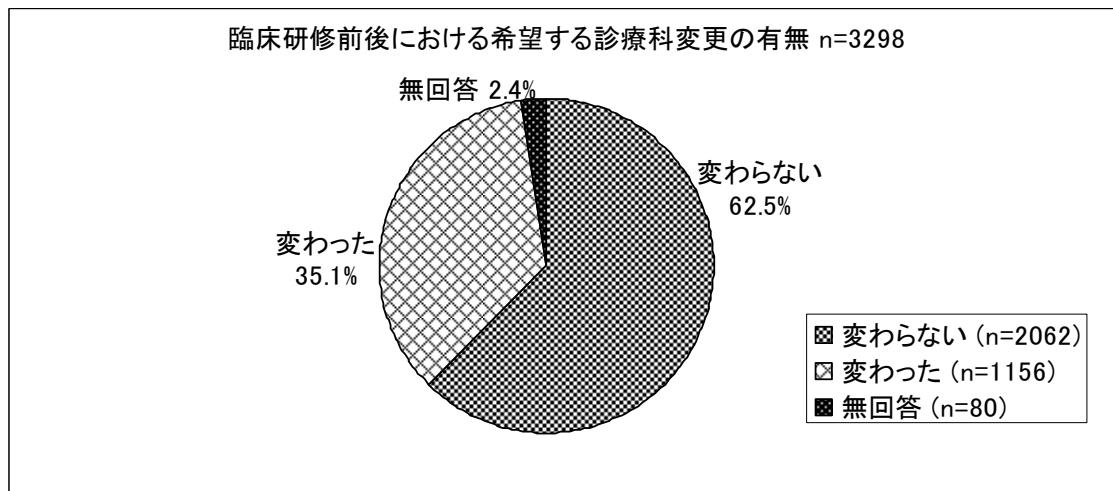
(12)(診療科別) 診療科を選んだ理由

「学問的に興味がある」(63.0%)、次いで、「やりがいがある」(60.2%)が多く、精神科、放射線科、皮膚科、循環器科では「学問的に興味がある」が70%以上となっており、産婦人科、外科、小児科、循環器科では「やりがいがある」が70%以上となっていた。



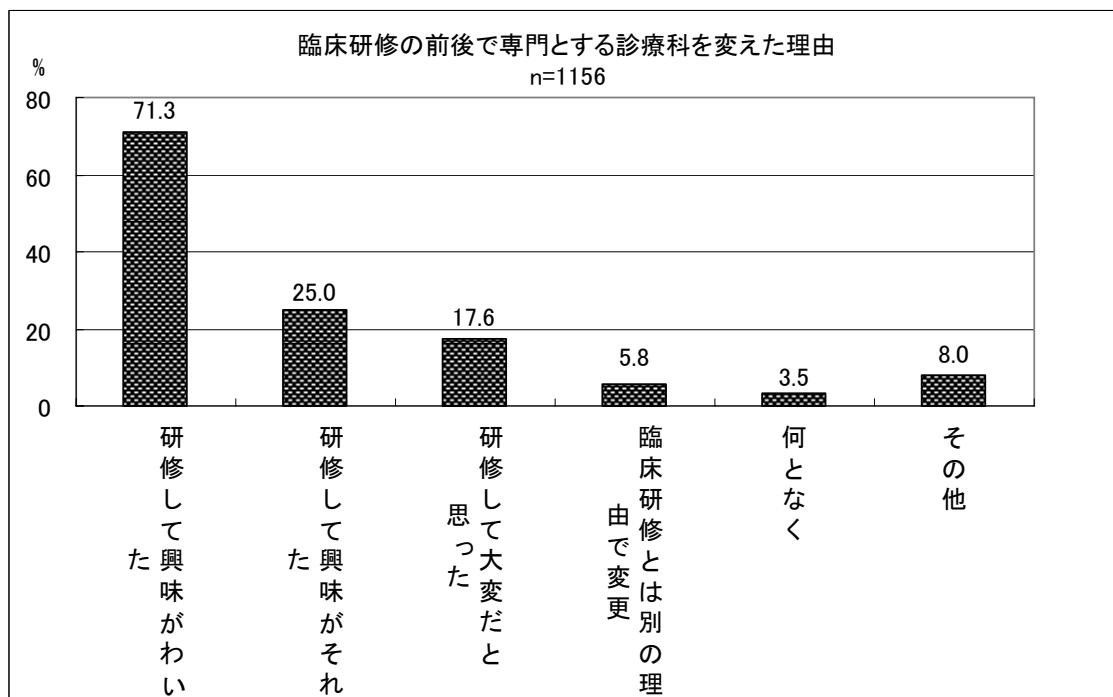
(13)(診療科別) 研修後の診療科変更について

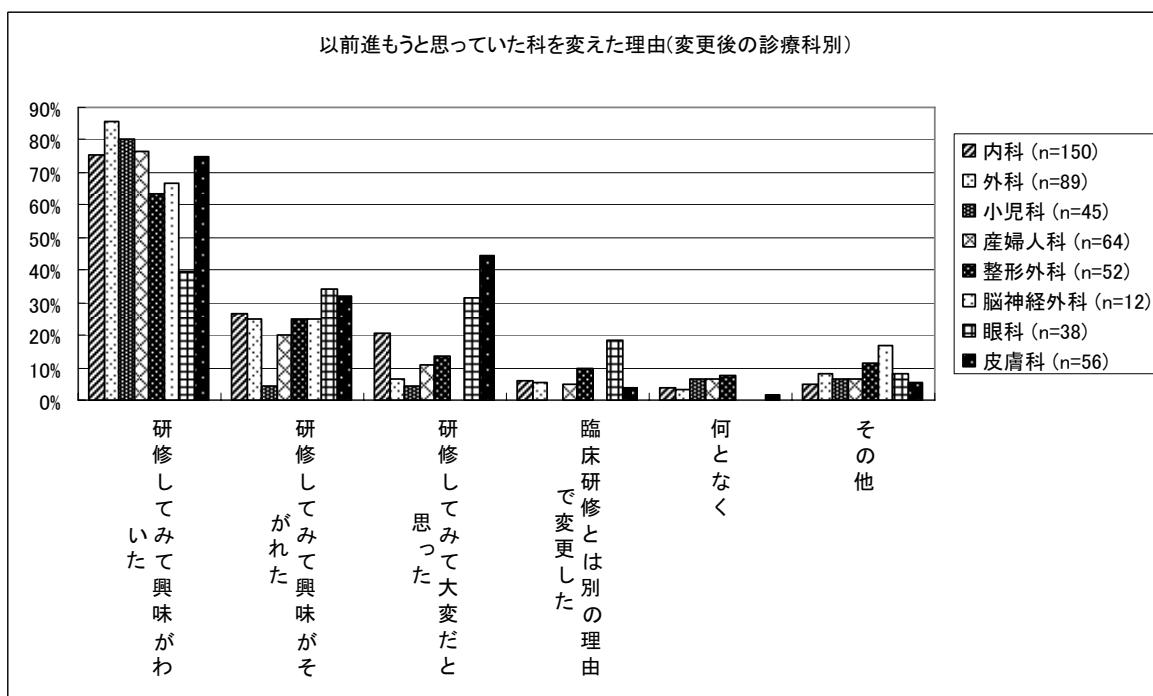
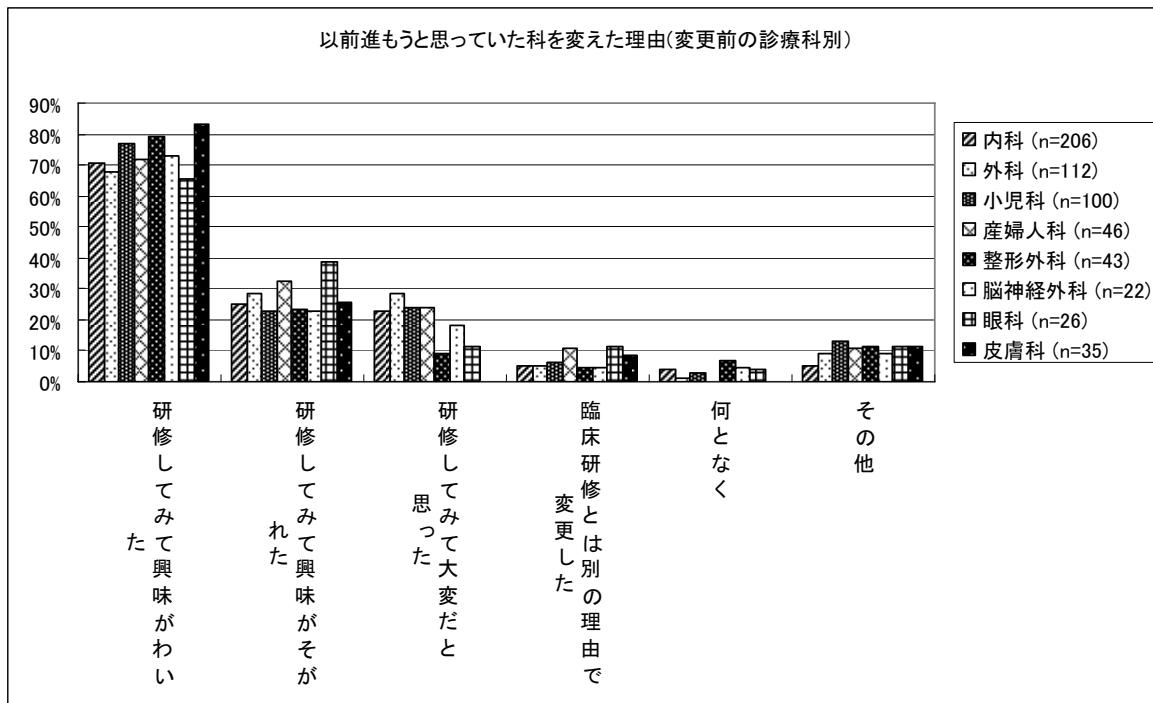
臨床研修の前後で将来専門とする診療科を変えた研修医は、1156人(35.1%)であった。



(14)(診療科別) 診療科を変更した理由

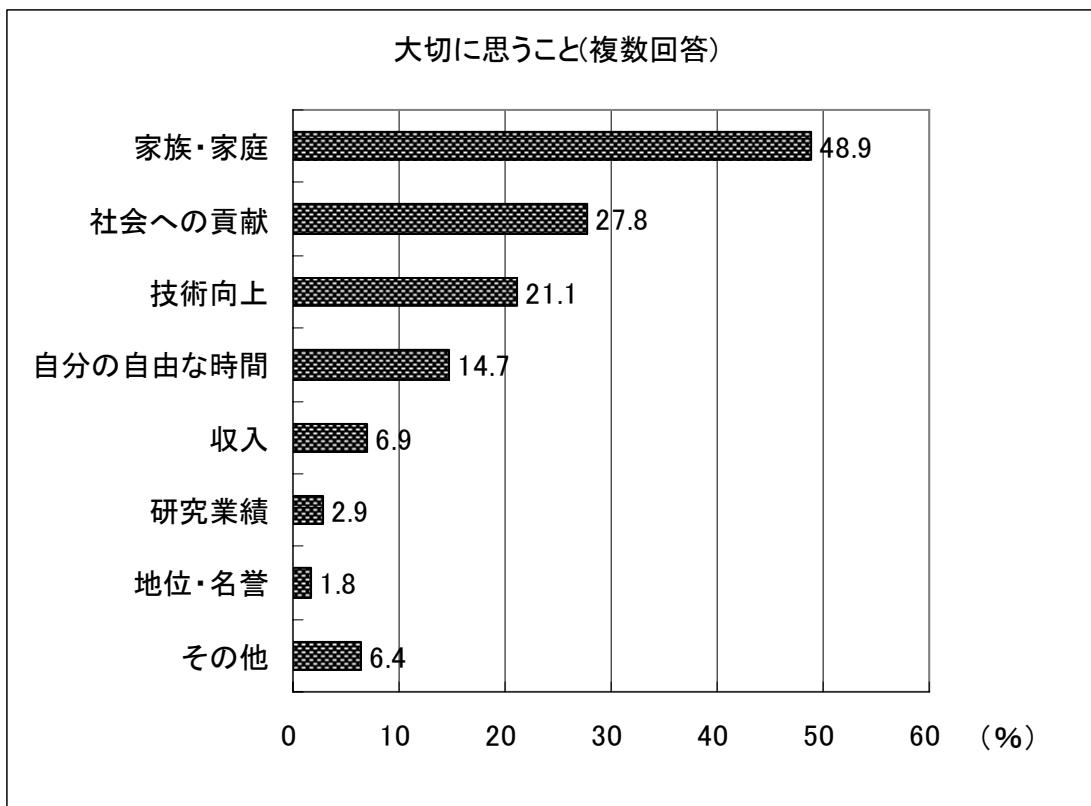
診療科を変更した理由は「研修してみて興味がわいたから」(71.3%)が最も多く、「研修してみて大変だと思った」は17.6%であった。





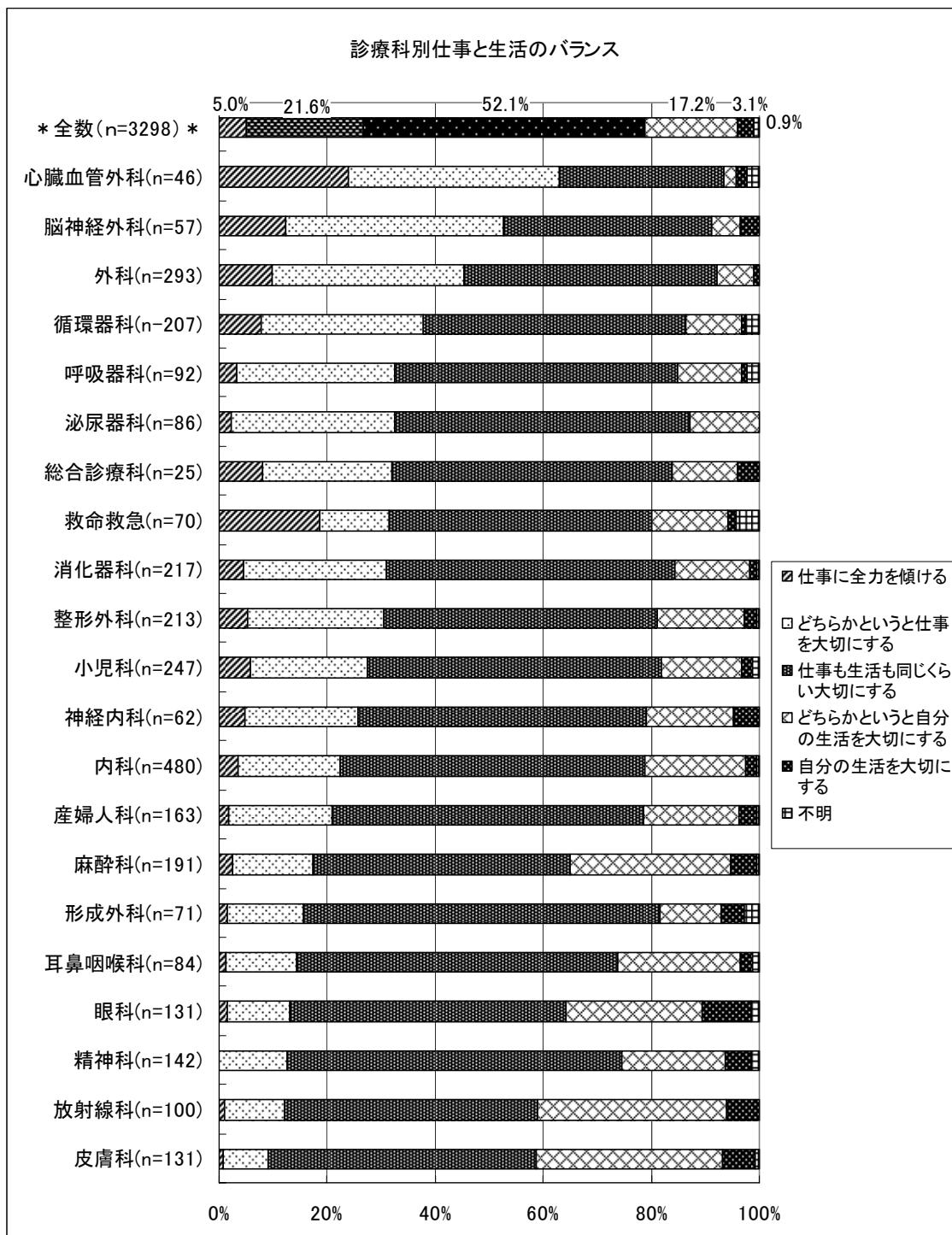
(15) 大切に思うことについて

最も大切に思うことは「家族・家庭」が最も多く、48.9%であった。ついで「社会への貢献」が27.8%、「技術向上」が21.1%であった。



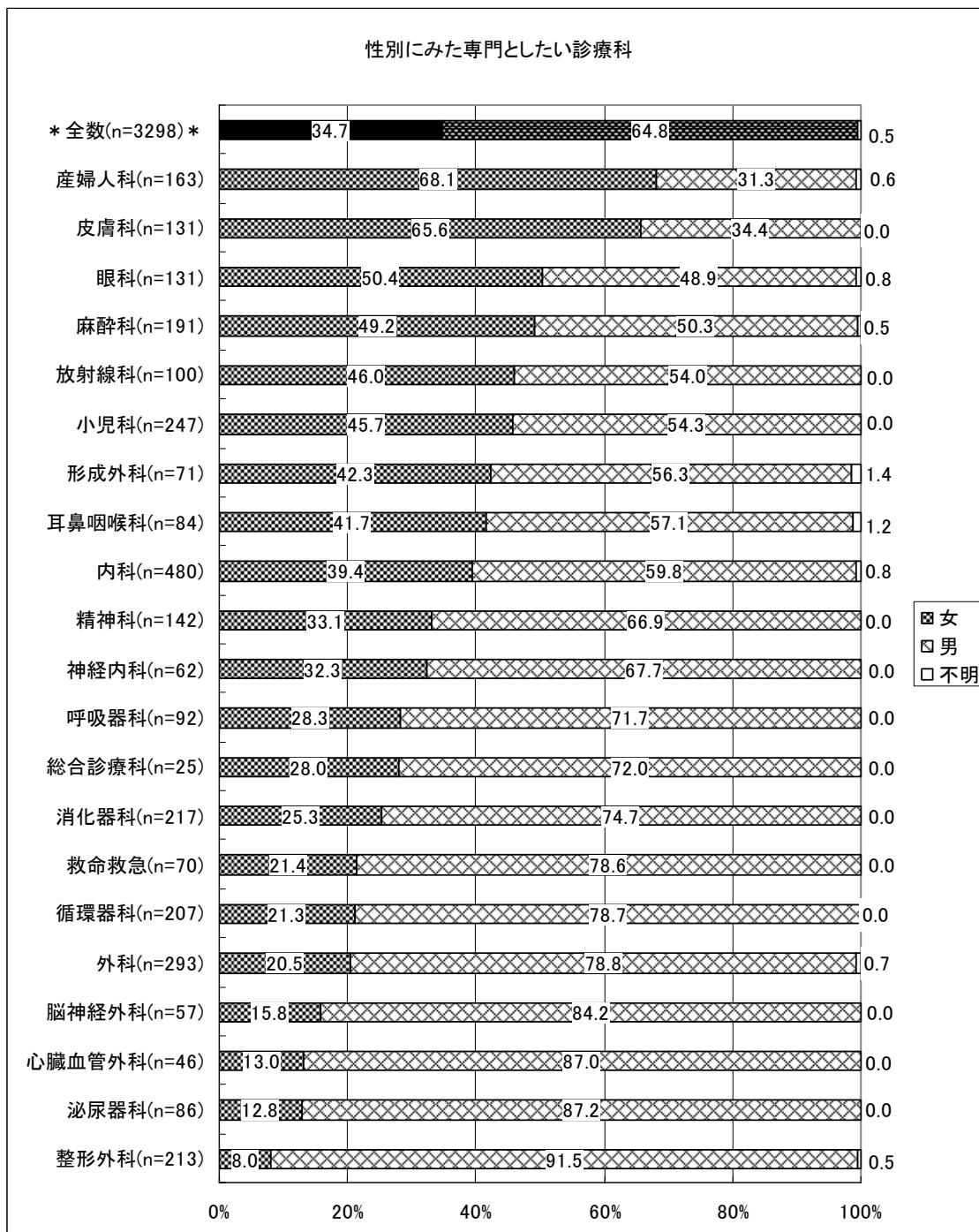
(16)(診療科別) 仕事と生活のバランスについて

仕事と生活のバランスについては、「仕事に全力を傾ける」「どちらかというと仕事を大切にする」を選んだ者は 26.6%、「仕事も生活も同じくらい大切にする」を選んだ者は 52.1%、「どちらかというと自分の生活を大切にする」「自分の生活を大切にする」を選んだ者は 20.3%であった。



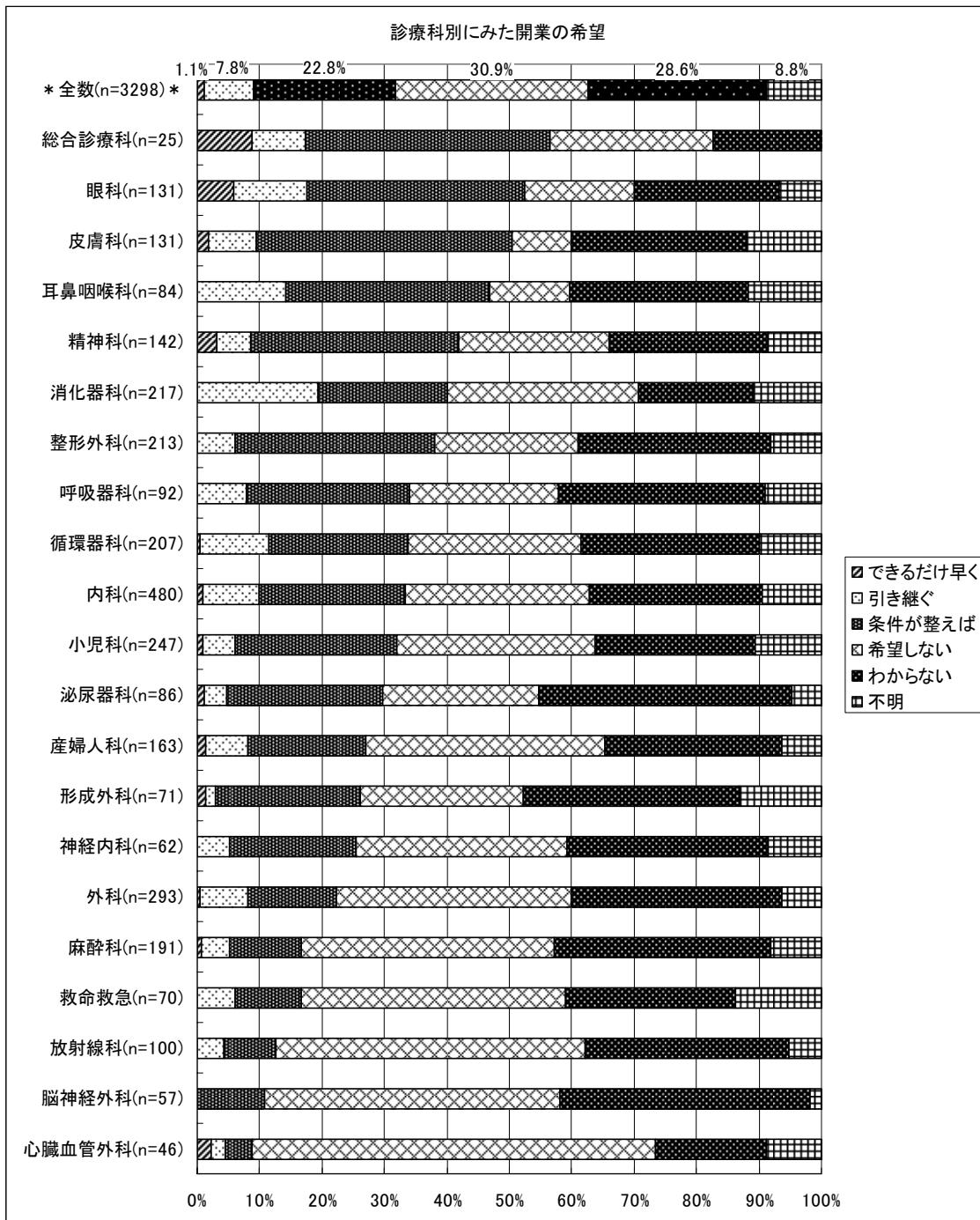
(17) 性別にみた専門とした診療科

女性医師の割合が高いのは、産婦人科（68.1%）皮膚科（65.6%）、眼科（50.4%）等であり、女性医師の割合が低いのは、整形外科（8.0%）、泌尿器科（12.8%）、心臓血管外科（13.0%）等であった。



(18) 将来の開業希望

将来、開業を希望する割合（「できるだけ早く」「引き継ぐ」「条件が整えば」の計）が多い科は総合診療科、眼科、皮膚科等であり、少ない科は心臓血管外科、脳神経外科等であった。



※ 開業を希望する割合（「できるだけ早く」、「引き継ぐ」、「条件が整えば」の計）順

(19)(診療科別) 臨床研修修了後の進路

大学病院で勤務・研修する割合が高い科は、形成外科、眼科、皮膚科等であり、市中病院で勤務・研修する割合が高い科は、総合診療科、外科、救命救急等であった。

